

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月以降	備考			
				13	20	27	4	11	18	25	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下		
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																								(継続運転)	3号機 原子炉建屋滞留水水位低下(T.P.-2800目録) 実施 (2022年6月1日~) 【2022年12月22日時点水位 約T.P.-2500】 ※監視パラメータ異常なし ※段階的に水位低下実施
		【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																								(2023年度 工事完了予定)	
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	設計検討																								(2023年度 設計完了予定)	
		【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討	詳細設計・工事																								(2024年度 工事完了予定)	
		【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土質の検討】	設計・検討	詳細設計・工事																								(2024年内 工事完了予定)	実規模モックアップ (2022年10月~)
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																								(継続運転)	処理水及びタンクのインサース状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2022年4月28日認可) 高性能多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請 (2022年9月28日認可) 使用前検査: 2022年11月30日 多核種除去設備 運転設備設置に係る実施計画変更申請 (2022年4月28日認可) 使用前検査: 2022年12月9日終了見込み
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																								(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015年9月3日~) 排水開始 (2015年9月14日~) 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始 (2022年3月~)
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業	運転																								(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																								(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(原規規第2101291号) 使用前検査: 2022年7月21日(第二セシウム吸着装置1号) 2022年7月28日(第二セシウム吸着装置2号) 2022年8月25日(第二セシウム吸着装置3号) 使用前検査予定: 調整中(第三セシウム吸着装置1号、2号、3号) 第三セシウム吸着装置の運転計画見直しにより実施時期再調整中
	陸側運水壁	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																								(継続運転)	6E、H1戻り配管(許年度購入し廃所の近傍) カップリングジョイント部からブライン微量漏下(11月28日) 今後、当該区間のブラインを抜き取り、カップリングジョイントを交換予定(1月~2月予定、交換機2系統(南回り)のブライン供給停止(1週間程度))	
	フェーシング(陸側運水壁内エリア)	現場作業	4号機建屋西側																									4号機建屋西側: 2023年1月完了予定	
	1-2号Rw/B屋上雨水排水対策工事	現場作業	(予定) ・1号Rw/B屋上雨水の浄化材への排水ルート構築																								(2023年3月 工事完了予定)		
1-4号機建屋周辺トレンチ調査	現場作業	(実績・予定) ・7箇所調査実施																									2022年12月21日 調査完了		
サブドレンNo40周辺PCB含有絶縁油拡散抑制対策	現場作業	(実績・予定) ・網矢板設置 ・薬液注入																								(2023年7月 工事完了予定)			

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月以降	備考				
				13	20	27	4	11	18	25	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下			
汚染水対策分野	●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																								(継続実施)	
		タンク解体	(予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 : 49基解体予定 (2023年度中) ・Eエリアフランジタンク (D1) 内の残水回収 (スラッジ含む) (実績) 解体基数 46基/49基	現場作業	Eエリアフランジタンク解体工事																								(2023年3月解体完了予定)*	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について (実施計画変更認可)
		タンク設置	・G5エリア溶接タンク設置工事 (実績) 設置基数 17基/17基 完成	現場作業	Eエリアフランジタンク (D1・D2) 内の残水回収																								(継続実施)	D2タンク内の残水回収: 2022年6月完了
●自然災害対策	津波対策	○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防波堤設置 (実績・予定) 斜面補強構築工事 本体構築工事	現場作業	G5エリア溶接タンク設置工事 10月7日 使用前検査終了証受領																									2021年11月5日 中低濃度タンク (G4 北、G5 エリア) の設置等の実施計画変更認可 (原規規発第2111054号) G5: 2022年9月使用前検査受検予定。9月16日 受検完了、10月7日 終了証受領	
		○サブドレン集水設備高台機能移転 (実績・予定) ろ過水タンク西側整備工事実施 地盤改良 (実施中)	現場作業	斜面補強・本体構築工事																								(2024年3月工事完了予定)	2024年3月完了予定 現場着手: 2021年6月21日開始 斜面補強部: 2021年9月14日作業開始 防波堤本体部: 2022年2月15日作業開始	
	豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (9月30日完成) ・モニタリング関連設備構築中	現場作業	ろ過水タンク西側整備 (ろ過水配管リルート工事) 地盤改良工事 (地盤改良) 実施中																								(2024年度当初工事完了予定)		
				現場作業	モニタリング関連設備現場工事																								(2023年3月モニタリング設備2系統化完了予定)	2022年11月にモニタリング設備 (連続監視) 運用開始 2022年12月にゲート遠隔操作開始予定

水処理設備の運転状況, 運転計画(1/2)

(2022年12月16日～2023年2月2日)

2023年1月20日

東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	
A	点検停止																												計画停止
B	点検停止																												
C	← 計画停止 →														← 計画停止 →														

増設多核種除去設備

	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)														
A	点検停止							← 計画停止 →							← 計画停止 →							点検停止							← 計画停止 →													
B	← 点検停止 →							← 計画停止 →							← 点検停止 →							← 計画停止 →							← 点検停止 →							← 計画停止 →						
C	点検停止																																									

高性能多核種除去設備

	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)
A	計画停止																											

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)
SARRY	計画停止																											
SARRY2	← 点検停止 →							← 計画停止 →														← 計画停止 →						
KURION	計画停止																											

※ 現場状況を踏まえて運転するため, 計画を変更する場合があります。

水処理設備の運転状況, 運転計画(2/2)

(2022年12月16日～2023年2月2日)

2023年1月20日
東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)										
A	計画停止											←→										計画停止									
B	点検停止																														
C	計画停止											点検停止																			

増設多核種除去設備

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	
A	点検停止																					
B	←→	計画停止	←→	点検停止	←→	点検停止	←→	点検停止	←→	計画停止	←→	点検停止	←→	計画停止	←→	点検停止	←→	計画停止	←→	点検停止	←→	計画停止
C	←→	計画停止	←→	計画停止	←→	計画停止	←→	計画停止	←→	計画停止	←→	計画停止	←→	計画停止	←→	点検停止	←→	点検停止	←→	点検停止	←→	計画停止

高性能多核種除去設備

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	
A	計画停止				点検停止											計画停止						

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)															
SARRY	計画停止											点検停止																								
SARRY2	←→											計画	←→											計画	←→											計画
KURION	計画停止																																			

※ 現場状況を踏まえて運転するため, 計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について(1/2)

2023年1月20日

(2022年12月16日～2023年1月19日)

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイト/バンカ 建屋
			HPCI室	トーラス室												
12月16日	-2046	-2893	-2528	-2547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-419	159	1376
12月17日	-2032	-2875	-2544	-2544	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-418	23	1375
12月18日	-2047	-2900	-2553	-2542	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-416	-80	1374
12月19日	-2036	-2884	-2556	-2502	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-414	-228	1373
12月20日	-2056	-2907	-2556	-2533	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-414	-136	1373
12月21日	-2046	-2893	-2556	-2551	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-412	51	1373
12月22日	-2032	-2879	-2554	-2533	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-407	236	1373
12月23日	-2036	-2903	-2549	-2509	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-404	295	1374
12月24日	-2031	-2910	-2546	-2509	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-403	249	1373
12月25日	-2033	-2903	-2547	-2533	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-402	162	1371
12月26日	-2047	-2896	-2547	-2503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-400	79	1370
12月27日	-2039	-2900	-2549	-2505	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-399	6	1367
12月28日	-2030	-2891	-2547	-2547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-397	-69	1366
12月29日	-2041	-2882	-2549	-2545	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-396	-161	1366
12月30日	-2050	-2901	-2551	-2503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-394	-243	1365
12月31日	-2047	-2884	-2551	-2549	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-393	-331	1364
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358	

備考欄

※ T.P.表記 (単位:mm)

※ 5時時点の水位

※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)

※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)

※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)

※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ サイト/バンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。

《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》

なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプの水位変動を確認するため、

2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について(2/2)

2023年1月20日

(2022年12月16日～2023年1月19日)

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイト/バンカ 建屋
			HPCI室	トールラス室												
1月1日	-2027	-2910	-2549	-2549	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-392	-426	1364
1月2日	-2044	-2889	-2551	-2545	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-391	-524	1363
1月3日	-2056	-2914	-2553	-2502	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-389	-599	1362
1月4日	-2026	-2893	-2554	-2505	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-388	-717	1361
1月5日	-2041	-2908	-2553	-2547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-387	-536	1360
1月6日	-2051	-2896	-2553	-2509	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-385	-345	1359
1月7日	-2029	-2905	-2549	-2537	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-384	-373	1359
1月8日	-2045	-2898	-2549	-2547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-383	-449	1358
1月9日	-2043	-2879	-2547	-2486	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-382	-356	1357
1月10日	-2036	-2901	-2547	-2545	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-381	-95	1356
1月11日	-2026	-2884	-2547	-2507	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-380	-94	1356
1月12日	-2041	-2891	-2547	-2531	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-378	-117	1355
1月13日	-2039	-2893	-2544	-2530	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-376	-162	1355
1月14日	-2025	-2887	-2523	-2547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-374	-241	1355
1月15日	-2044	-2898	-2523	-2503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-373	-342	1354
1月16日	-2042	-2877	-2528	-2535	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-371	-433	1355
1月17日	-2044	-2900	-2532	-2549	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-369	-515	1354
1月18日	-2048	-2879	-2588	-2608	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-368	-394	1357
1月19日	-2051	-2898	-2600	-2596	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-367	-185	1356
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358

備考欄

- ※ T.P.表記 (単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイト/バンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。
《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》
なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプの水位変動を確認するため、
2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。

各エリア別タンク一覧

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

タンク基数、水位、貯蔵量、実容量集約日 2022年12月15日

エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	H水位 (mm)	H容量/基 =実容量/基 (m3)	0%以下 貯蔵量 (m3)	0%以上 貯蔵量(m3)	実容量 (m3)	水位管理				放射能濃度(Bq/cc)							測定時期	概略 使用開始時期
										水位(%) (最大値)	スロッシング 考慮(%)	HANN (%)	HHANN (%)	Cs-134	Cs-137	Co-60	Mn-54	Sb-125	Ru-106	Sr-90		
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13674	1297	約20	12855	12975	97.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							H30.12	
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13272	682	約30	18339	18413	97.4	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							H30.10	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13674	1297	約10	9082	9082	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							H30.10	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	タンク撤去移動(H30.10)							—	H23.6
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	タンクの分析は未実施							—	H23.8
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	12936	1004	約190	7774	19078	52.6	95	88.7	90	1.4E+00	5.4E+00	8.2E-02	<1.9E-02	3.1E+00	<3.5E-01	4.4E+01	H27.3	H26.8
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	12936	1004	約140	6205	12049	88.3	95	88.7	90	タンクの分析は未実施							—	R1.11
E	26	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	タンク解体中							—	H24.8
	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	9880	1054	約100	—	1054	0.9	95	96.3	98.9	2.7E+00	8.6E+00	3.0E+00	1.4E+00	3.7E+01	1.3E+01	3.8E+04	H27.2	—
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接) ※土中埋設	RO処理水(淡水)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	タンク撤去移動(H31.2)							—	H24.8
	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約160	87102	87244	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	R1.11
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	11920	1130	約20	9032	9042	97.5	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.4
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	13664	1296	約30	19381	19442	97.5	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.4
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	9400	1069	約50	25608	25652	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H25.4
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) ※1, 2	9400	1012	約90	39237	39466	92.1	100	92.5	93.8	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H25.10
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設) ※2	9400	1069	約10	6367	6413	97.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	R2.3
G4北	6	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10794	1322	約10	885	3966	21.8	100	97.7	99	タンクの分析は未実施							—	R4.7
G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	34312	34369	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	R2.3
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13674	1297	約70	48949	49303	97.1	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H31.4
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	13415	690	約10	6876	6898	97.4	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.12
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	10539	1190	約140	67463	74969	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H27.3
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10539	1190	約50	28510	28560	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.4
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	11330	2331	約180	102503	102569	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.10
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10796	1322	約20	13192	13219	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.11
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10366	1169	約80	40836	40931	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H29.7
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13190	1034	約20	13410	13424	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H29.12
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13010	1112	約70	42126	42249	97.5	100	97.7	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.4
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	10368	1169	約70	37382	37423	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.9
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10368	1169	約20	12852	12864	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.8
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	31583	31725	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H30.12
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	9477	1069	約10	1883	5344	46.1	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	—	2.2E+02	H27.3	H25.4
H8南	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 ※2	9477	1069	約20	7903	8551	90.3	100	97.7	99	タンクの分析は未実施							—	現在未使用中
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	9477	1069	約10	20	3207	1.8	100	97.7	99	<5.1E-02	1.2E-01	2.1E-01	2.0E-02	3.8E+00	2.9E-01	9.1E+01	H27.3	H25.4
J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) ※1, 2	9477	1069	約220	97527	104746	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.1
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	9477	1069	約0	1044	2138	95.4	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.1
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	12151	2500	約170	104115	104999	97.1	99	97.2	98.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.9
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	12101	2490	約90	54400	54773	96.5	99	96.8	98.1	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.10
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	12604	2829	約130	84789	84882	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.10
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	11926	1131	約10	5645	5657	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.2
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	12001	1137	約70	39668	39789	92.0	94	92.2	93.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.8
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10366	1169	約90	44369	44431	97.6	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H26.12
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	10366	1169	約100	48893	49108	97.4	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H27.9
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10747	682	約10	6127	6138	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.4
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10747	682	約20	8175	8183	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.11
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	10366	1169	約30	14029	14031	97.7	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H27.1
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) ※2	11926	1131	約20	11291	11314	97.5	100	97.7	99	タンクの分析は未実施							—	R3.7
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設) ※2	12780	1032	約40	28618	28888	97.2	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.7
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13280	683	約10	8178	8195	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.4
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	12410	972	約50	31482	34024	96.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H28.8
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	9750	1103	約0	1581	4411	93.1	100	97.5	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ※3							—	H25.3
高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	12630	1199	約0	541	3598	22.5	100	98.4	99.6	— ※4							—	H26.10
増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	12630	1199	約0	1502	3598	82.0	100	98.4	99.6	—							—	H26.9
D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	12936	1002	約120	7298	10041	-0.1	95	88.7	90	タンクの分析は未実施							—	H26.8
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	—	—	—	178	281	89.4	—	93	96.5	タンクの分析は未実施							—	H23.8

赤字はアウトオブサービス済の基数

下線部は今回の変更箇所

※1 濃縮塩水/Sr処理水等を貯留した実績あり(G3西及びJ1の一部)

※2 Sr処理水等を貯蔵した実績のあるタンクを再利用したものを含む 再利用した基数 G3西:30、G3北:6、H8南:8、J1:8、K1南:10、K2:26

※3 多核種除去設備処理済水(ALPS処理水等)の放射能濃度について、当社「処理水ポータルサイト」に掲載のデータを参照(3ヶ月毎にデータ更新)

処理水ポータルサイトのURLは以下のとおりです。4ページ中段にある「貯蔵タンクエリア毎の放射能濃度を詳しくみる」をクリックすると、分析結果が表示されます。

https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/

※4 多核種除去設備、高性能多核種除去設備、増設多核種除去設備のサンプルタンクは貯留用タンクではなく水の入れ替わりがあることから、分析対象外とする。

※実容量には、タンク底部から水位計0%の水量(DS分)を含まない。

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.12.15時点)

資料3

リスク端点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約4,300 (2022.9.15時点) 約1,650 (2022.12.8時点)	Cs-134: 2.9E0 Cs-137: 9.7E1 (2022.7.12)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6,100 (2022.9.15時点) 約7,150 (2022.12.8時点)	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物 (SARRY, KURION, ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	タンクエリア (Gエリア)	約65×1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を測定して算出
9	5. 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 2.6E2 (2022.9.21) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 2.7E2 (2022.9.21) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留 当該タンクは清溜水処理系統の一部となっており、今後準備が出来次第、清溜水処理系統に加え、本リストからは削除する予定
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,940 (2022.9.10)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 5.3E5 Sr-90: 1.1E2 (2022.9.9) 4.7E5 8.3E1 (2022.10.3)	2020.3.19より1~3号機炉注水源としての運用開始 当該タンクは清溜水処理系統の一部となっており、今後準備が出来次第、清溜水処理系統に加え、本リストからは削除する予定
					【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,980 (2022.9.10)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)	RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源 当該タンクは清溜水処理系統の一部となっており、今後準備が出来次第、清溜水処理系統に加え、本リストからは削除する予定

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.12.15時点)

資料3

リスク観点より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.5E4 (2022.10.4) 1.9E4 (2022.12.6) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.2E4 (2022.10.5) 1.4E4 (2022.12.7) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.1E3 (2022.10.18) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~170 (2022.1)	Cs-134: ND~2.5E2 Cs-137: 1.4E2~8.3E3 全β: 1.4E2~7.7E3 H-3: ND~7.6E2 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 9.3E1 全β: 1.1E2 H-3: ND (2022.1.13)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約410 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.1E1 全β: 4.5E1 (2022.1.13)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2022.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防炎用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約0~830 (2022.1)	Cs-134: ND~1.0E1 Cs-137: 1.1E1~2.5E2 全β: 1.9E1~2.5E2 H-3: ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンビットNo.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1~4号機周辺「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 8.9E3 1.3E3 Cs-137: 3.7E5 5.3E4 全β: 4.2E5 9.2E4 H-3: 1.3E4 3.6E2 (2022.9.16) (2022.11.9)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディープウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺「未復旧」	約15/ビット	【No.47.48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.12.15時点)

資料3

リスク端点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 4.4E2 1.6E2 Cs-137: 1.7E4 5.6E3 全β: 2.0E4 7.1E3 H-3: ND ND (2022.11.14) (2022.12.12)	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン建屋海側	約5,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.4E1 1.4E1 Cs-137: 8.0E2 8.1E2 全β: 1.1E3 1.1E3 H-3: ND ND (2022.11.14) (2022.12.12)	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン建屋海側	約3,360 (2022.1)	Cs-134: ND ND Cs-137: 3.5E2 2.6E2 全β: 5.0E2 2.9E2 H-3: ND ND (2022.10.12) (2022.11.9)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: - (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1170 (2022.9.14)	Cs-134: ND ND Cs-137: 3.7E1 ND Co-60: 3.7E1 5.4E1 (2022.10.13) (2022.11.16)	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1630 (2022.9.14)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: ND ND (2022.10.26) (2022.11.8)	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5号機ストームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~1.7E0 Cs-137: ND~5.1E1 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: 6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134: 8.0E+4 Cs-137: 1.6E+5 Co-60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留 当該タンクは、今後汚染水処理系統の一部として管理予定となっており、進捗が出来次第、汚染水処理系統に加え、本リストからは削除する予定
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND ND Cs-137: ND~4.5E1 ND~3.6E1 (2022.11.16) (2022.12.14)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約6,900 (2022.9.15時点) 約6,400 (2022.12.8時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.5E0 全β: ND H-3: ND (2022.10.20) 【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 2.0E0 全β: ND H-3: 1.2E2 (2022.10.21)	
46	排気筒ドレンサンプルット	・1/2号排気筒ドレンサンプルット ・3/4号排気筒ドレンサンプルット ・5/6号排気筒ドレンサンプルット ・集中RW排気筒ドレンサンプルット	1~4号機周辺 1~4号機周辺 5/6号機周辺 1~4号機周辺	約0.3 [※] 約2 約7.6 (2020.3.12) 約10	Cs-134: 2.5E5 2.0E5 Cs-137: 9.6E6 8.4E6 全β: 1.1E7 8.3E6 (2022.9.30) (2022.10.27) Cs-134: 1.5E1 Cs-137: 5.7E2 全β: 6.5E3 (2022.3.31) Cs-134: ND Cs-137: 9.5E0 全β: ND (2022.3.30) Cs-134: 1.3E1 Cs-137: 3.0E2 全β: 2.7E2 (2022.2.16)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。 (2022.4.27)
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)	

建屋内における残水等の状況について

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値／基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可能予定時期	備考	
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)							
1	1号機	T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.023	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1.743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2.293	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	2021/10/26	-	T.P. 1.743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
2	1号機	T/B	主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.463	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 3.443	無	完了済		
3			復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2.063	1回/3ヶ月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 2.043	無	完了済		
4			ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2.250	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/21	-	T.P. 943	有(露出)	完了済		
5			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1.926	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	2021/9/15	-	T.P. 543	有(露出)	完了済		
6			床ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/12/1	T.P. -847	-	2022/11/2	T.P. -868	-	2022/10/3	T.P. -785	-	-	-	-	有	完了済	
7			機器ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
8			復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/12/1	T.P. -13	-	2022/11/2	T.P. -35	-	2022/10/3	T.P. 9	-	-	-	T.P. -857	有	完了済	水位は仮設水位計にて計測
9			復水ポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプピット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
10	給水加熱器ドレンポンピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済			
10	給水加熱器ドレンポンピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済			
11	1号機	Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済		
12			FSST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/週	2022/12/7	T.P. 24	-	2022/12/1	T.P. 24	-	2022/11/10	測定下限値以下	-	2022/11/10	-	T.P. -36	有(露出)	完了済		
13			OGST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/1	測定下限値以下	-	2022/11/2	測定下限値以下	-	2022/10/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済		
14			床ドレンサンプ(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
15			床ドレンサンプ(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
16			高電導度廃液サンプ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
17	2号機	T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	-	-	-	2022/12/7	測定困難※4	-	2022/11/4	測定困難※4	-	2022/10/4	測定困難※4	-	-	-	T.P. -1,752	無	-	復水器エリアと連通性有※2	
18			C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1.599	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	2018/1/26	-	T.P. 448	無	完了済		
19			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1.644	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	2018/1/15	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
20			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1.668	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/12	測定下限値以下	-90	2022/10/12	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
21			スイッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
22			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
23			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
24			消火ポンプ室(水位計設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/19	測定下限値以下	-100	2022/10/19	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
24			消火ポンプ室(ポンプ設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	2020/6/29	-	T.P. 448	無	完了済		
25			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/7	測定下限値以下	-	2022/11/4	測定下限値以下	-	2022/10/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
26	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 448	無	-	復水器エリアと連通性有※2			
27	3号機	T/B	T/B地下階北東廊下 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	-	-	-	-	T.P. 463	無	-	復水器エリアと連通性有※2		
28			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/5	測定下限値以下	-	2022/11/7	測定下限値以下	-	2022/10/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
29			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/5	測定下限値以下	-	2022/11/7	測定下限値以下	-	2022/10/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
30			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/5	測定下限値以下	-	2022/11/7	測定下限値以下	-	2022/10/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
31			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/5	測定下限値以下	-	2022/11/7	測定下限値以下	-	2022/10/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
32			電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1.725	1回/月	2022/12/5	測定下限値以下	-	2022/11/7	測定下限値以下	-	2022/10/5	測定下限値以下	-	2019/6/14	-	T.P. 463	無	完了済		
33			消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1.644	1回/月	2022/12/5	T.P. 493	0	2022/11/7	T.P. 493	10	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/8/29	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
34			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1.665	1回/月	2022/12/5	測定下限値以下	-	2022/11/7	測定下限値以下	-	2022/10/5	測定下限値以下	-	2020/10/6	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
35			C/Bエリア	建屋貯留水	-	-	-	2022/12/5	測定下限値以下※6	-	2022/11/7	測定下限値以下※6	-	2022/10/5	測定下限値以下※6	-	2020/10/2	-	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。継続して排水する措置を実施済み。	
36			4号機	T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1.683	1回/月	2022/12/6	測定下限値以下	-	2022/11/8	測定下限値以下	-	2022/10/6	測定下限値以下	-	2018/1/24	-	T.P. 461	有(露出)	完了済
37	C/B(電気品室)	排水完了エリア			2018/2/15	T.P. 1.636	1回/月	2022/12/6	測定下限値以下	-	2022/11/8	測定下限値以下	-	2022/10/6	測定下限値以下	-	2018/10/23	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
38	バッチ油タンク室	排水完了エリア			2018/3/23	T.P. 1.622	1回/月	2022/12/6	測定下限値以下	-	2022/11/8	測定下限値以下	-	2022/10/6	測定下限値以下	-	2020/10/14	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
39	M/Cエリア	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/6	測定下限値以下	-	2022/11/8	測定下限値以下	-	2022/10/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
40	南西エリア	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/6	測定下限値以下	-	2022/11/8	測定下限値以下	-	2022/10/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
41	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2022/12/6	測定下限値以下	-	2022/11/8	測定下限値以下	-	2022/10/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
42	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水			-	-	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 461	無	-	復水器エリアと連通性有※2	

※1:現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分けするように計画する。

※2:2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照。

※3:1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンプ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)

※4:連通のある復水器エリアは、連通高さ(T.P.-1527mm)以下にある床ドレンサンプで水位を制御しているため、連通高さを超えてから水位を記載する。

※5:床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。

※6:床面露出。床面(T.P.-1737mm)以下にあるストームドレンサンプで水位を制御しているため、床面高さを超えてから水位を記載する。

2022/12/8 5:00 時点の各建屋水位

建屋	1号機			2号機			3号機			4号機		
	R/B	Rw/B	T/B※6	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B
滞留水の水位	T.P. -2.022	除去完了	除去完了	T.P. -2.815	除去完了	除去完了	T.P. -2.404	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了
周辺サブドレン設定値	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650

※6:1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

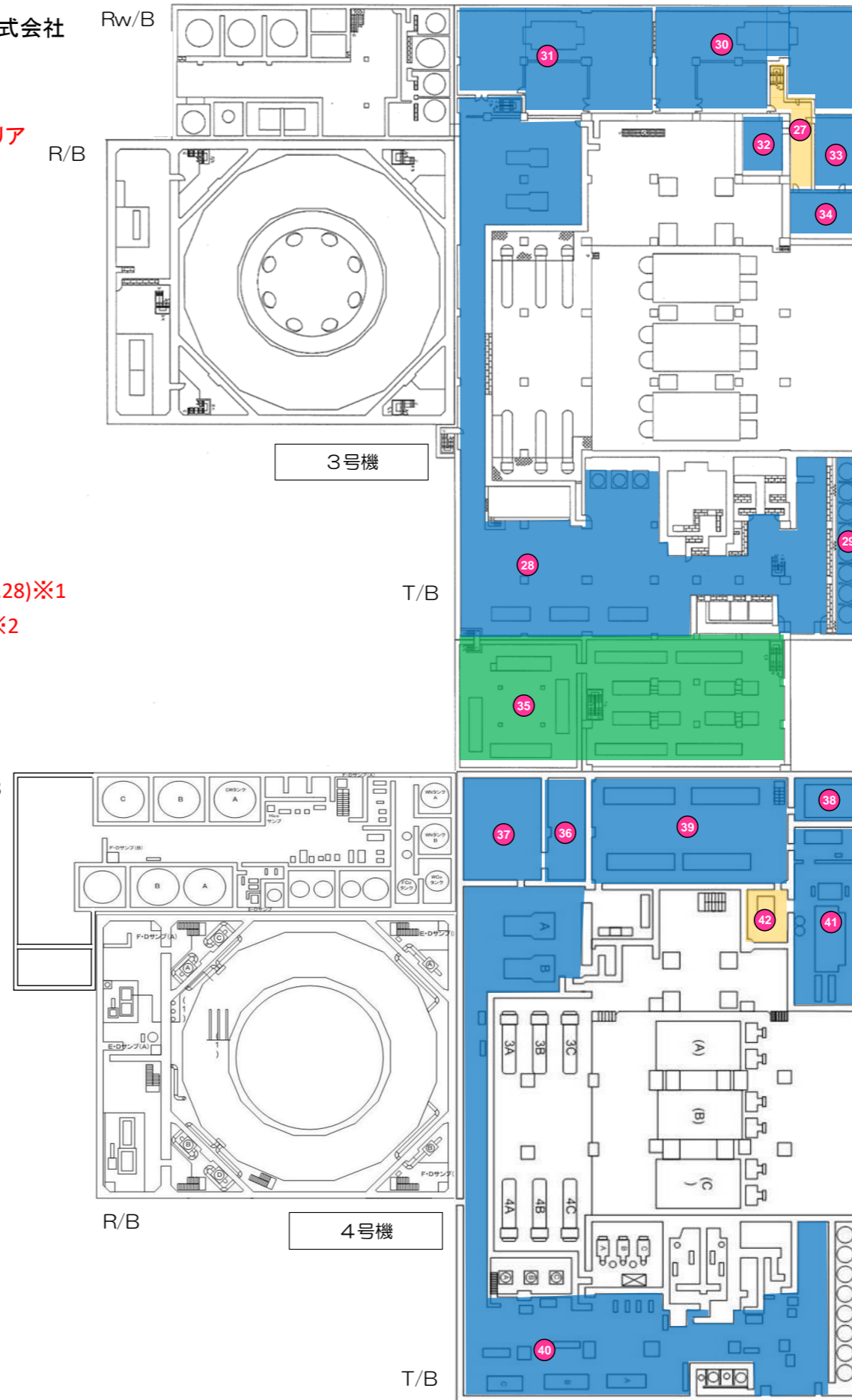
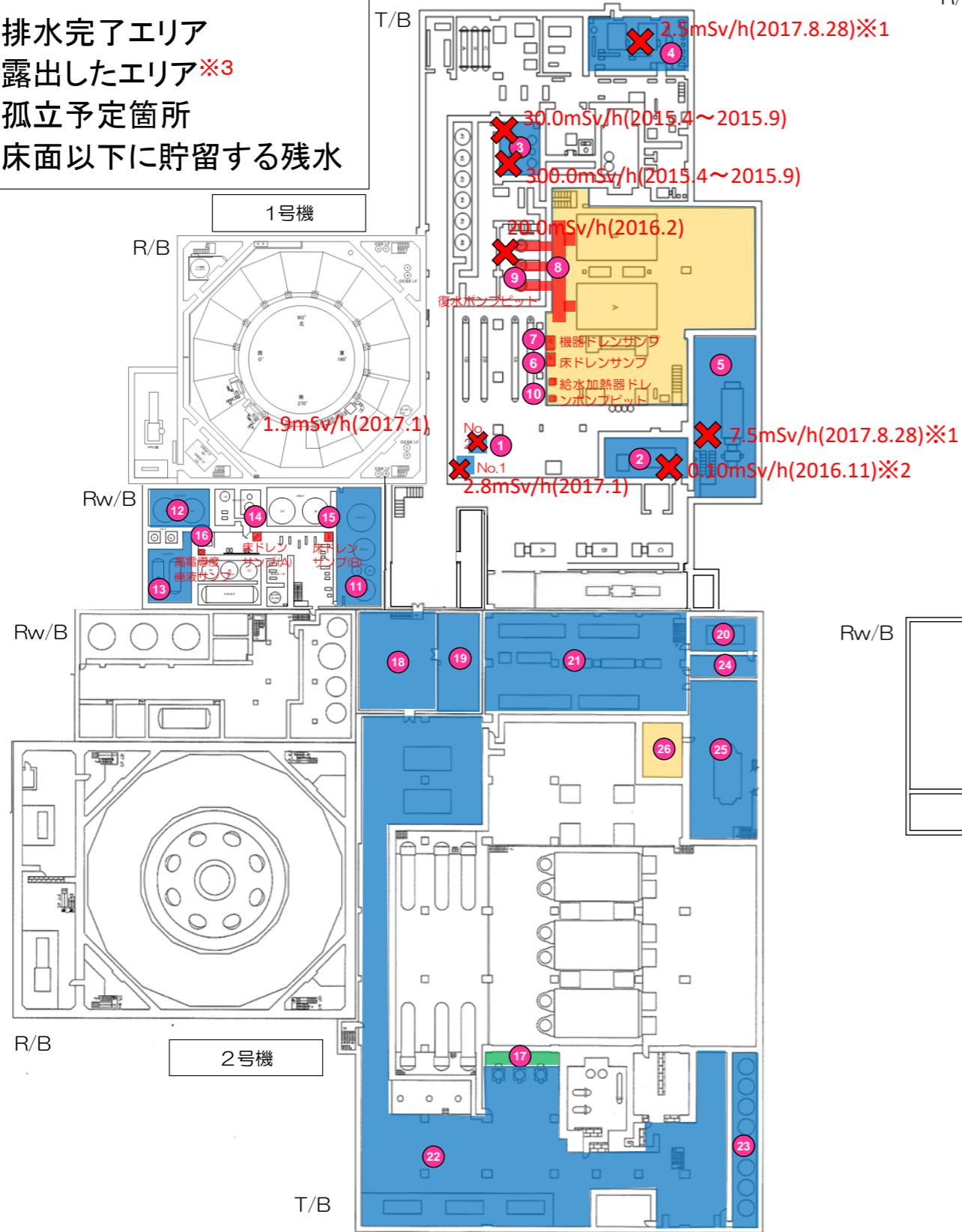
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のまま判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社
2023年1月20日

実施計画記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 12}	管理方法		主要核種
							実施内容 ^{※9}	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） 設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） 設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） 工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） 回収した土壌 	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	235,900 m ³ [-1,000 m ³]	266,300 m ³ (299,000 m ³)	<ul style="list-style-type: none"> 人が容易に立ち入れないよう区画 巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認 空間線量率を測定し表示 空気中の放射性物質濃度を測定 槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設） 	—	Cs-137 Cs-134 等 ^{※7}
				・シート養生（～1mSv/h）	47,400 m ³ [-100 m ³]	50,700 m ³ (77,400 m ³)		週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	16,700 m ³ [微増 m ³]	17,900 m ³ (18,500 m ³)		週1回	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	28,600 m ³ [+400 m ³]	39,600 m ³ (64,700 m ³)		6ヶ月に1回 ^{※2}	
				瓦礫類の合計		328,600 m ³ [-800 m ³]		374,400 m ³ (459,500 m ³)	
	使用済保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> タイバック 下着類 ゴム手袋 その他保護衣、保護具 	屋外	・容器収納	18,900 m ³ [-3,100 m ³]	52,500 m ³ (58,700 m ³)	<ul style="list-style-type: none"> 煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木） 	週1回 ^{※3}	
			建屋	・袋詰め				週1回 ^{※3}	
	伐採木	<ul style="list-style-type: none"> 枝葉根 幹根 	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m ³ [0 m ³]	41,600 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 伐採木一時保管槽における温度監視 	週1回 ^{※3}	
				・屋外集積	2,200 m ³ [+100 m ³]	6,000 m ³		<ul style="list-style-type: none"> 保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認 	
			伐採木の合計		127,000 m ³ [-900 m ³]	175,600 m ³ (175,600 m ³)	—		
			—		伐採木の合計		—		
	Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	441 m ³ [+4 m ³]	700 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視 	
使用済セシウム吸着塔一時保管施設				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	4,096 本 [+19 本]	4,192 本	<ul style="list-style-type: none"> 人が容易に立ち入れないよう区画 空間線量率を測定し表示 	—	
			・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）			<ul style="list-style-type: none"> 巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認 	—		
			・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備、サブドレン他浄化装置】（最大約1.2mSv/h）	396 本 [0 本]	584 本				
			・吸着材（前置フィルタ含む）	・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）			<ul style="list-style-type: none"> 貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認 	週1回	
			・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	980 本 [0 本]	1,532 本				
			フィルタ	・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）									
・容器収納【サブドレン他浄化装置】									
RO装置のフィルタ類			・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）			瓦礫類と同様	—		
	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む							
樹脂	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—				
	・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）								

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 11, 12}	管理方法		主要 核種	
							実施内容 ^{※9}	頻度		
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500 本相当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等	
				・その他	ドラム缶 10,155 本					
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納、ボックスコンテナ収納	3,670 本 [+179 本]						
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m ³ ^{※4}	—		・事故前の保管量の推定値により確認		3ヶ月に1 回
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,546 m ³ ^{※5}	—		・貯蔵量の確認 ^{※8}		3ヶ月に1 回
		・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 ^{※6}	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回		
							・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回		
— ^{※10}	瓦礫等	・回収した瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	74,700 m ³ [+600 m ³]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等	
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	800 m ³ [0 m ³]				
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	-	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	100 m ³ [0 m ³]				
				仮設集積の合計	—	75,600 m ³ [+600 m ³]				

- ※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2022年11月30日現在、水処理二次廃棄物は2022年12月1日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2022年10月27日認可）に記載している保管容量である。
- ※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
- ※3 6月～9月は、1週間に3回。
- ※4 2022年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m³。
- ※5 2022年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,398m³、造粒固化体：1,148m³。
- ※6 2022年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。
- ※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10³年）、Ni-63（半減期：約1.0×10²年）、Se-79（半減期：約1.1×10⁶年）、Tc-99（半減期：約2.1×10⁵年）、I-129（半減期：約1.6×10⁷年）等が検出されているものがある。
- ※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。
- ※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2022年10月27日認可）に未記載。
- ※10 仮設集積しているのは、瓦礫類、伐採木、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。
- ※11 []は、当該の報告とその前月との差を示している。
- ※12 一部の値について端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の増減を微増・微減と示している。

ガレキの保管量の現状^{※1, 2, 3}

保管形態	受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア 名称	保管容量	保管量	前回比	保管容量合計	保管量合計	2022年度末 想定保管量 ^{※4}
屋外集積 (~0.1mSv/h)	≦0.001	AA	36,400 m ³	22,200 m ³	+400 m ³	266,300 m ³	235,900 m ³	271,900 m ³
	≦0.005	A2	9,500 m ³	- m ³ ^{※5}	- m ³ ^{※5}			
		J	6,300 m ³	6,200 m ³	0 m ³			
	≦0.01	A1	4,300 m ³	2,200 m ³	0 m ³			
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³			
		C	31,000 m ³	31,000 m ³	0 m ³			
	≦0.025	C	35,000 m ³	34,200 m ³	-200 m ³			
	≦0.028	U	800 m ³	700 m ³	0 m ³			
	≦0.1	C	1,000 m ³	1,000 m ³	0 m ³			
		F2	6,400 m ³	6,400 m ³	0 m ³			
		N	9,700 m ³	9,600 m ³	0 m ³			
		O	44,100 m ³	44,000 m ³	0 m ³			
		P1	62,700 m ³	59,800 m ³	-1,100 m ³			
		V	6,000 m ³	6,000 m ³	0 m ³			
d		1,200 m ³	1,200 m ³	0 m ³				
e	6,700 m ³	6,100 m ³	-100 m ³					
シート養生 (~1mSv/h)	≦0.3	D	2,700 m ³	2,600 m ³	0 m ³	50,700 m ³	47,400 m ³	77,100 m ³
	≦1	E1	15,400 m ³	14,600 m ³	-100 m ³			
		P2	6,700 m ³	5,800 m ³	0 m ³			
		W1	11,600 m ³	10,500 m ³	-100 m ³			
		W2	0 m ³	0 m ³	0 m ³			
		X	7,900 m ³	7,600 m ³	-100 m ³			
		m	3,100 m ³	3,000 m ³	+100 m ³			
		n	3,300 m ³	3,300 m ³	0 m ³			
覆土式一時保管施設、容器収納 (1mSv/h~30mSv/h)	≦10	F1	700 m ³	100 m ³	微増 m ³	17,900 m ³	16,700 m ³	33,600 m ³
		E2	1,200 m ³	600 m ³	0 m ³			
	≦30	L	16,000 m ³	16,000 m ³	0 m ³			

仮設集積の管理状況^{※1, 2}

分類	場所	保管容量	保管量	前回比
仮設集積 ^{※6}	①	2,200 m ³	2,200 m ³	0 m ³
	②	2,000 m ³	1,900 m ³	+100 m ³
	③	2,000 m ³	2,000 m ³	0 m ³
	④	44,800 m ³	40,000 m ³	+1,700 m ³
	⑤	18,800 m ³	9,000 m ³	+300 m ³
	⑥	3,000 m ³	1,300 m ³	-900 m ³

- ※1 瓦礫類、仮設集積物は2022年11月30日現在の保管量及び保管容量である。保管容量は運用上の上限を示している。
- ※2 一部の値について端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の増減を微増・微減と示している。
- ※3 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。
- ※4 瓦礫類の想定保管量は、実施計画（2022年10月27日認可）の予測値を示している。
- ※5 エリアA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「-」と記載。
- ※6 保管容量が1,000m³以上の仮設集積場所について記載。



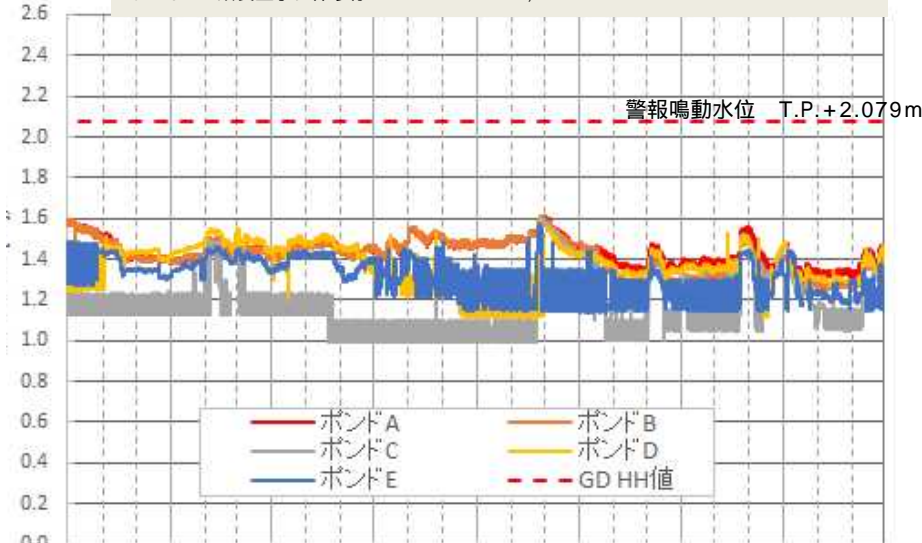
地下水ドレンの稼働状況について

2023/1/20

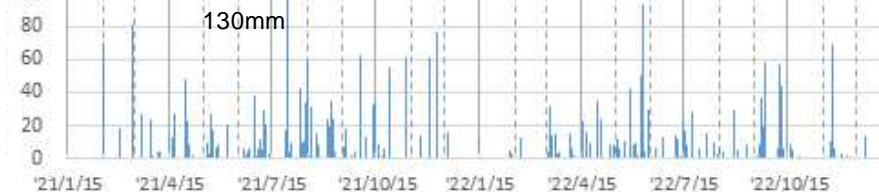


【地下水ドレンポンド水位】

ボンドDの改良工事に伴う停止 '21.12/13~12/17,'22.7/4 7/8
 ボンドCの改良工事に伴う停止 '21.12/6 12/10,'22.6/27 7/1,'22.9/26 '22.9/30
 ボンドEの改良工事に伴う停止 '22.2/7 2/11,'22.8/1~8/5

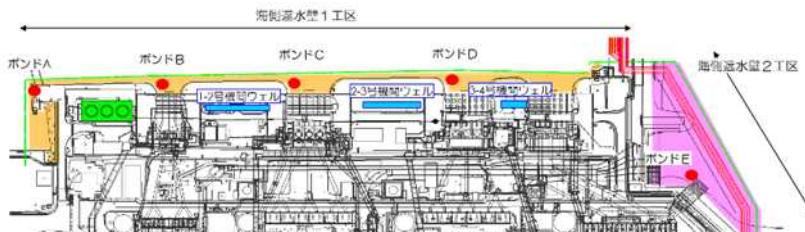


【降水量：福島第一地点】



水位計点検時の水位データは除く。

【配置図】



■ 地下水ドレン集水タンク及びT/B移送量（左表）、ウェルポイントT/B移送量（右表）[m³/日]

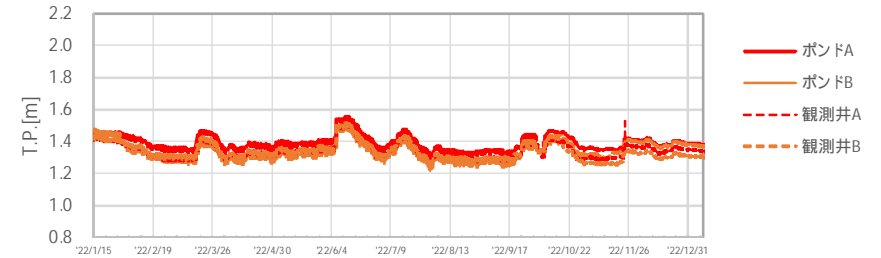
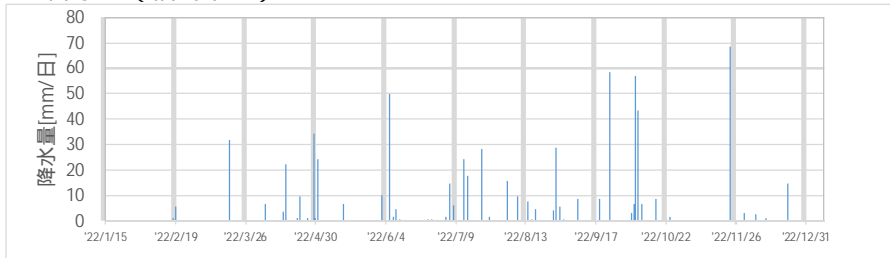
前日0:00より24時間

地下水ドレン	中継タンクA		中継タンクB		中継タンクC		集水タンク移送量合計	T/B移送量合計	移送量合計	ウェルポイント			
	移送先集水タンク	T/B	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B				#1-2間	#2-3間	#3-4間	合計
12/6	0	2	6	0	31	0	37	2	39	13	0	0	13
12/7	0	0	29	0	34	0	63	0	63	7	0	0	7
12/8	0	0	46	0	30	0	76	0	76	7	0	0	7
12/9	0	0	53	0	43	0	96	0	96	7	0	0	7
12/10	0	0	59	0	56	0	115	0	115	7	0	0	7
12/11	0	0	55	0	55	0	110	0	110	7	0	0	7
12/12	0	0	54	0	55	0	109	0	109	0	0	0	0
12/13	0	0	52	0	55	0	107	0	107	7	0	0	7
12/14	0	0	35	0	38	0	73	0	73	7	0	0	7
12/15	0	0	20	0	13	0	33	0	33	7	0	0	7
12/16	0	0	21	0	9	0	30	0	30	7	0	0	7
12/17	0	0	25	0	11	0	36	0	36	7	0	0	7
12/18	0	0	25	0	10	0	35	0	35	7	0	0	7
12/19	0	0	26	0	11	0	37	0	37	0	0	0	0
12/20	0	0	24	0	12	0	36	0	36	14	0	0	14
12/21	0	0	25	0	11	0	36	0	36	7	0	0	7
12/22	0	0	28	0	14	0	42	0	42	6	0	0	6
12/23	0	0	34	0	16	0	50	0	50	7	0	0	7
12/24	0	0	31	0	16	0	47	0	47	7	0	0	7
12/25	0	0	34	0	17	0	51	0	51	7	0	0	7
12/26	0	0	30	0	17	0	47	0	47	0	0	0	0
12/27	0	0	31	0	14	0	45	0	45	7	0	0	7
12/28	0	0	30	0	16	0	46	0	46	7	0	0	7
12/29	0	0	27	0	13	0	40	0	40	7	0	0	7
12/30	0	0	27	0	15	0	42	0	42	7	0	0	7
12/31	0	0	27	0	14	0	41	0	41	0	0	0	0
1/1	0	0	25	0	12	0	37	0	37	7	0	0	7
1/2	0	0	24	0	14	0	38	0	38	7	0	0	7
1/3	0	0	23	0	13	0	36	0	36	7	0	0	7
1/4	0	0	24	0	13	0	37	0	37	7	0	0	7
1/5	0	0	21	0	13	0	34	0	34	0	0	0	0
1/6	0	0	23	0	12	0	35	0	35	7	0	0	7
1/7	0	0	22	0	13	0	35	0	35	7	0	0	7
1/8	0	0	20	0	11	0	31	0	31	7	0	0	7
1/9	0	0	21	0	12	0	33	0	33	0	0	0	0
平均	0	0	30	0	21	0	51	0	51	6	0	0	6

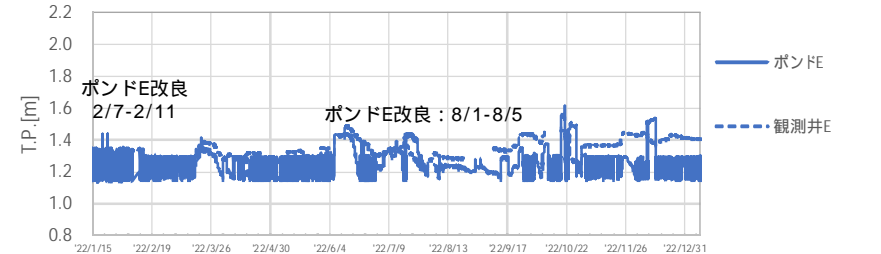
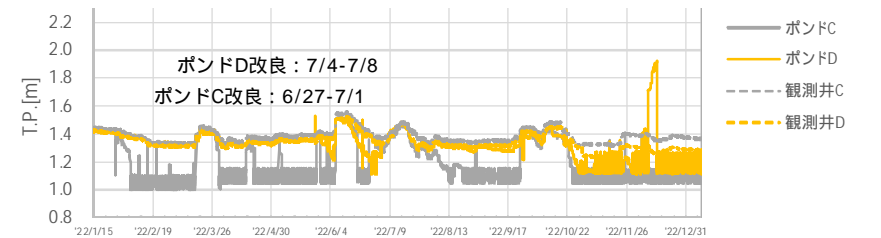
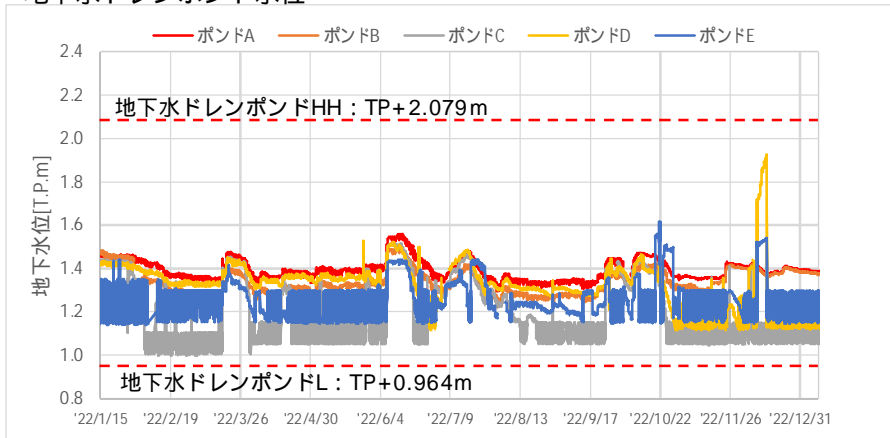
合計値は小数点第一位のデータを合計しているため、個々のデータを合計した数値と合計値に差異がある場合がある。

地下水ドレン稼働状況および水位変化状況

降水量（福島第一）

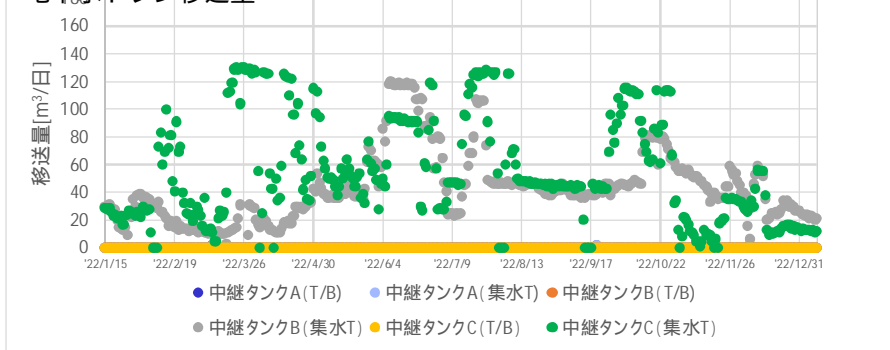


地下水ドレンpond水位



記載グラフについて、水位計点検時の水位データは除く。

地下水ドレン移送量



- ▶ 通常時はポンドC～Dを稼働し、ポンドCの設定水位を一番低くして、H3の拡散抑制を継続。
- ▶ 集水タンクのH-3,Sr濃度上昇抑制のため、サブドレンの稼働状況を踏まえて、各ポンドの設定水位の変更及び流量調整等を都度、実施。
- ▶ また、観測井水位と降雨予報も踏まえ、適宜、ポンドの稼働や観測井からの揚水を実施
- ▶ '22/2/14にポンドD、EのH値を変更（-50mm）
- ▶ '22/3/31にポンドCのH・L値を変更（+50mm）
- ▶ 現時点における設定水位及び稼働状況

	H値	L値
ポンドA	T.P.1200mm	1000mm
ポンドB	T.P.1200mm	1000mm
ポンドC	T.P.1150mm	1050mm
ポンドD	T.P.1250mm	1100mm
ポンドE	T.P.1300mm	1150mm

[稼働状況]
 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
 稼働中（流量調整を適宜実施）
 稼働中（流量調整を適宜実施）
 稼働中（流量調整を適宜実施）

地下水ドレン中継タンクの水質

◆ 中継タンク

- セシウム137 ; 中継タンクBは、5 ~ 10Bq/L程度、あるいは検出限界値 (ND) で推移している。
中継タンクCは、40 ~ 80Bq/L程度で推移。
- 全β ; 中継タンクBは、1,000 ~ 2,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、500Bq/L程度で推移。
- トリチウム ; 中継タンクBは、500 ~ 1,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、300Bq/L以下で推移。

(記載データ採取日)

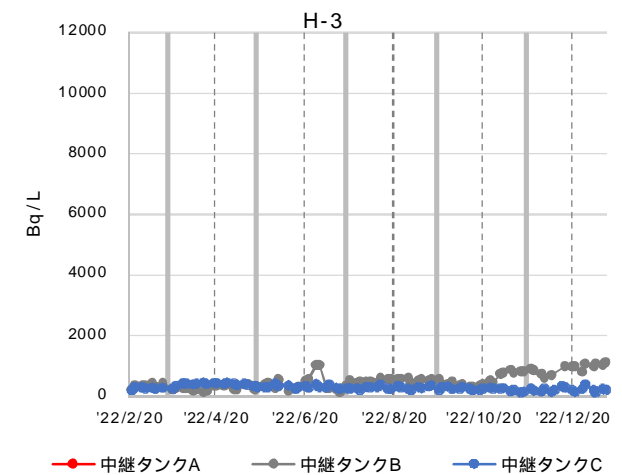
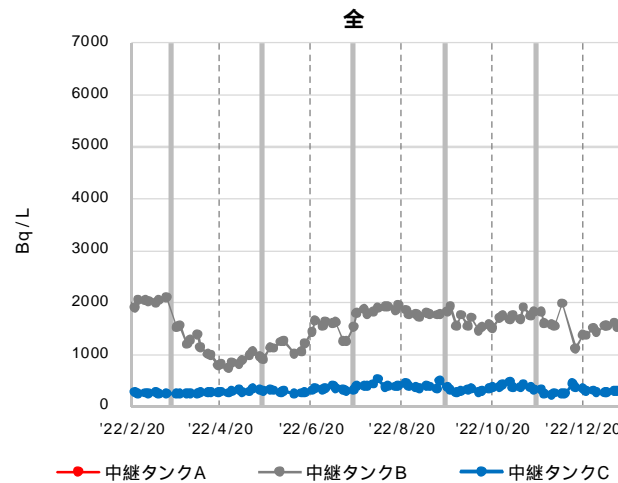
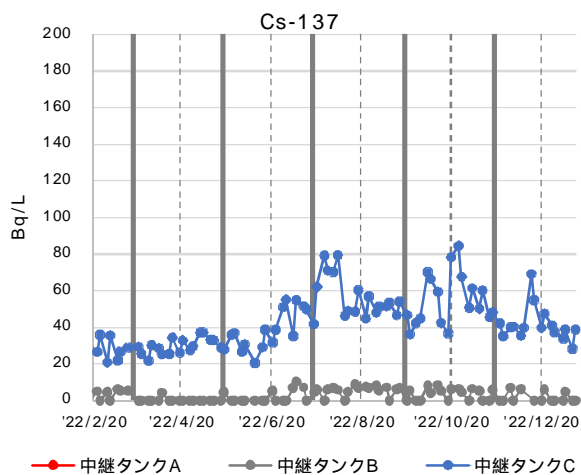
中継タンクA ; 2017/12/8

中継タンクB, C ; 2023/1/12

(単位) Bq/L

中継タンク	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.4	3,600	1,800
B	<4.6	1,500	1,100
C	39	310	210

ポンドA, B非稼働のため
2017/12/8以降サンプリング休止



<参考> 地下水ドレン汲み上げ水の水質（ポンド別）



◆ ポンド

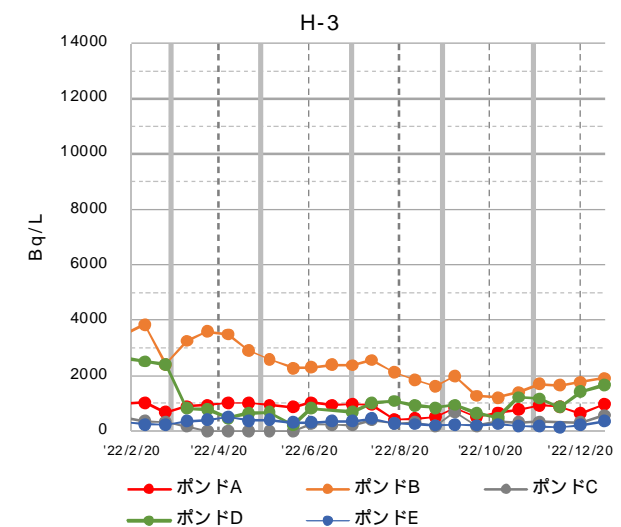
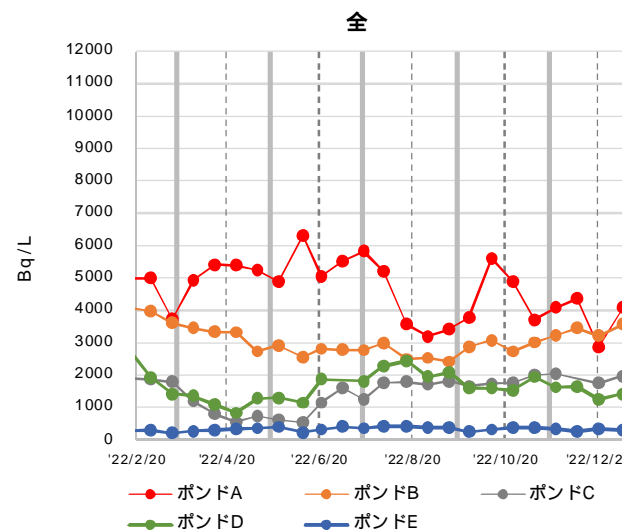
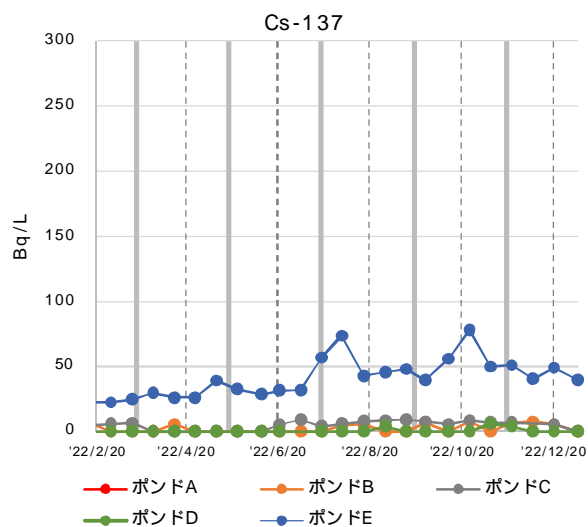
- セシウム137；ポンドEは、50 100Bq/L程度で推移。
- 全β；ポンドAは、3,000 5,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、2,000 4,000Bq/L程度で推移。
ポンドC,Dは、2,000Bq/L程度で推移。
- H-3；ポンドAは、500～1,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、1,000～2,000Bq/L程度で推移。
ポンドC、Eは、500Bq/L程度以下で推移。
ポンドDは、1,000Bq/L程度以下で推移。

採取日 2023/1/5

(単位) Bq/L

ポンド	セシウム137	全β	トリウム
A	<4.9	4,100	980
B	<4.9	3,600	1,900
C	<5.2	2,000	580
D	<5.6	1,400	1,700
E	40	310	350

ポンドCは、2022/11/22データ



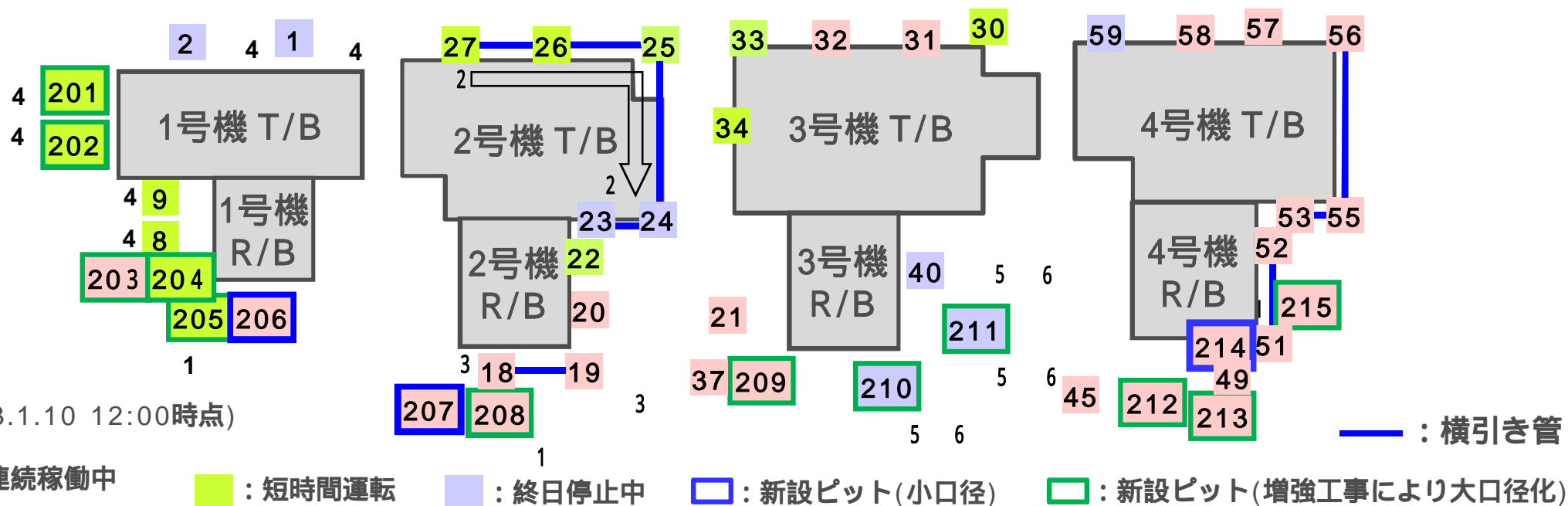
サブドレン稼働状況について

2023年1月20日
東京電力ホールディングス株式会社

サブドレン稼働概要

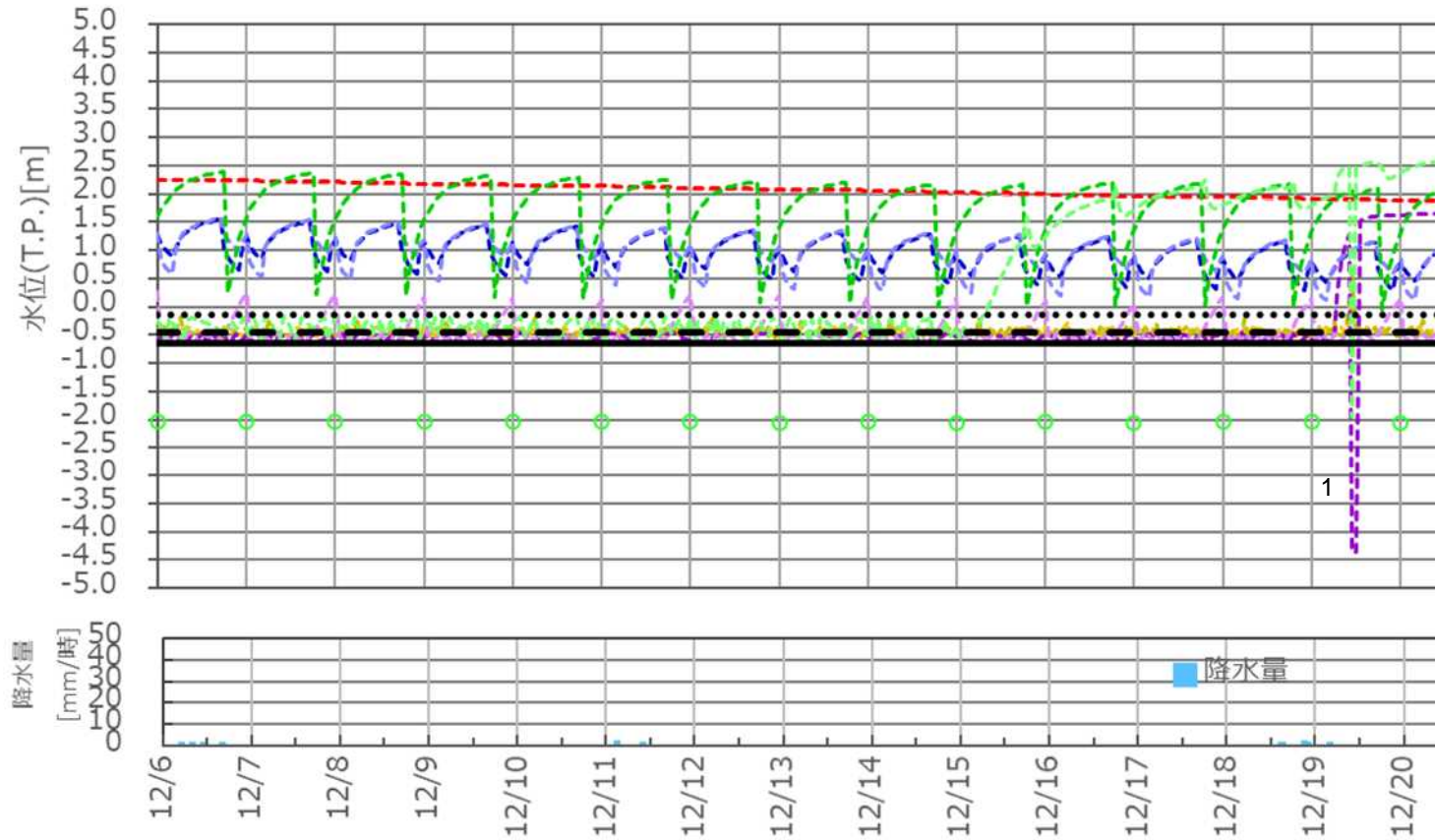
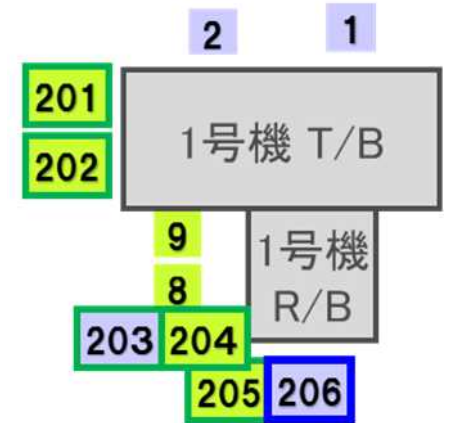
対象ピット	期間	設定値(m)		
		L値	H値(大口徑)	H値(小口径)
周辺ピット	2020/2/7 ~	T.P.-0.15	T.P.0.05	T.P.0.350
	2020/2/18 ~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	T.P.0.150
	2020/11/12 ~	T.P.-0.45	T.P.-0.25	T.P.0.050
	2020/11/24 ~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	T.P.-0.050
	2021/5/13 ~	T.P.-0.65	T.P.-0.45	T.P.-0.150
No.205,No.208 1	2021/5/13 ~	T.P.-0.20	T.P.0.00	-
No.23 ~ No.27 2	2020/2/18 ~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	-
No.18 ~ No.19 3	2020/8/7 ~	No.18	T.P.0.50	T.P.0.70
		No.19	T.P.0.70	T.P.0.90
No.1,2,8,9,201,202 4	2020/11/24 ~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	-
No.40,210,211 5, 6	2021/9/13 ~	No.40	T.P.1.50	T.P.1.70
		No.210,211	T.P.2.00	T.P.2.20
	2021/9/21 ~	No.40	T.P.1.00	T.P.1.20
		No.210,211	T.P.1.50	T.P.1.70
	2022/3/10 ~	No.210,211	T.P.1.40	T.P.1.60

- トリチウム濃度の高い地下水の汲上を抑制するために、No.206,207ピットより水位設定値を高く設定している。
- No.23 ~ 27については、2020/2/18 ~ の設定値に据え置き。理由は、ポンプ停止時の水位上昇が遅いため、大雨の際の建屋水位上昇に備えて設定値を下げないこととした。
- No.18, 19については、溢水防止を目的とした連続運転を続けられるようにするため、水位設定値を高くしてトリチウム濃度を抑制している。
- No.1,2,8,9,201,202については、2020/11/24 ~ の設定値に据え置き。理由は、2と同様。
- No.40はピット内への油の引込みを防止するため水位を高くし、No.210, 211は古い連結管を通してNo.40からの油の引込みを防ぐため、より高く設定している。
- 4/21に確認された3号機起動変圧器からの油漏れ事象により、No.40,210,211ピットを停止中。



至近の水位変動（1号機）

	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	停止	1
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	停止	1
----- 201(N1)	短時間運転		○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				

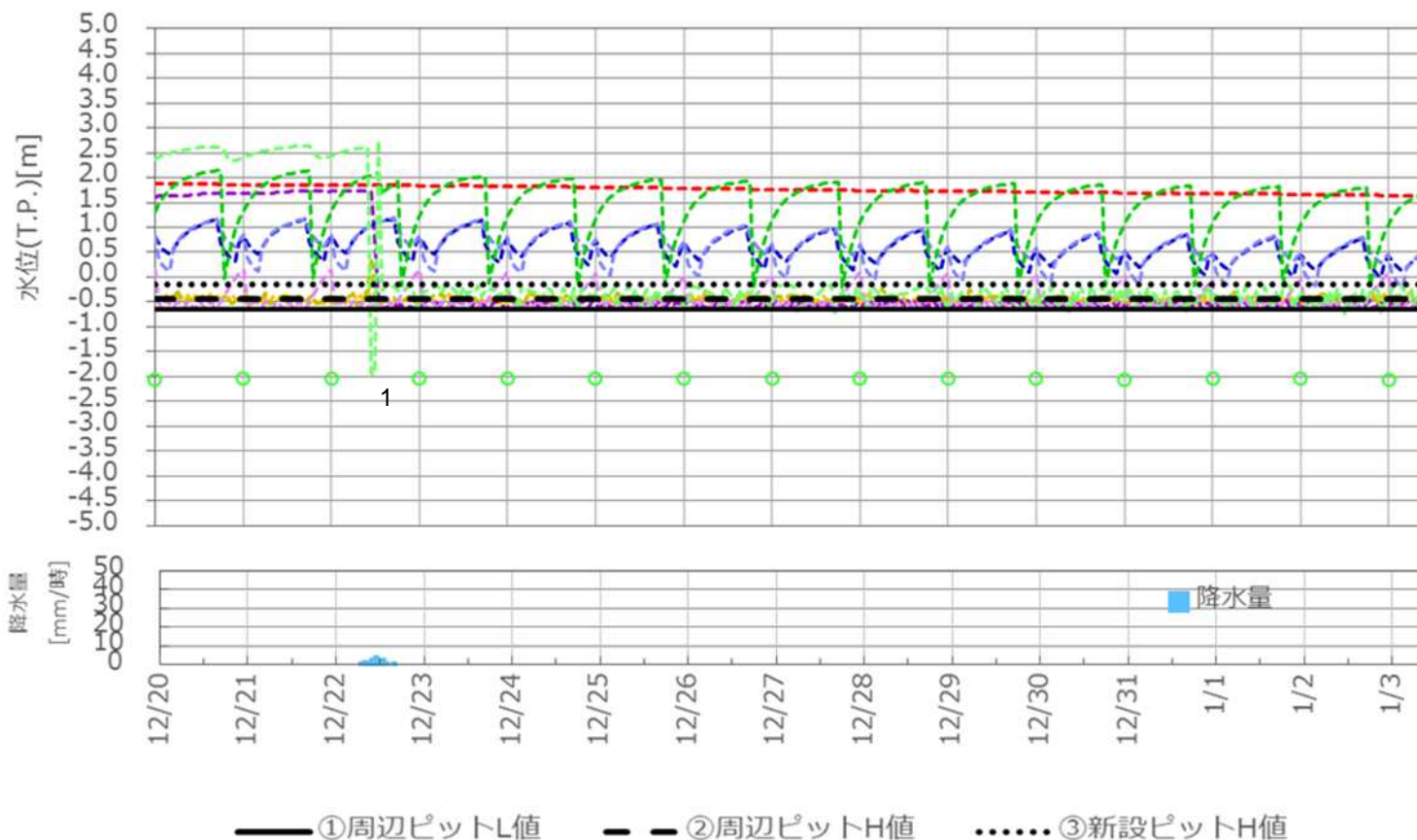
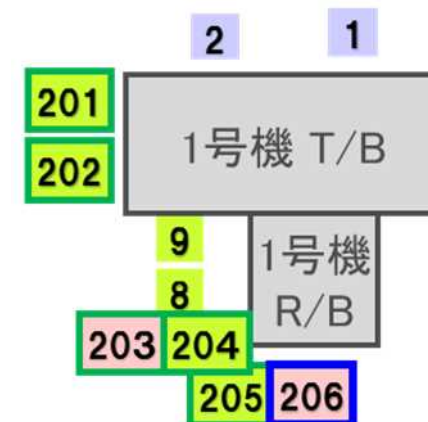


1
No.203、No.206は、それぞれのピットのポンプ交換(12/19~22)に伴い、運転停止、水位計一時引き上げを実施

—— ①周辺ピットL値 - - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

至近の水位変動（1号機）

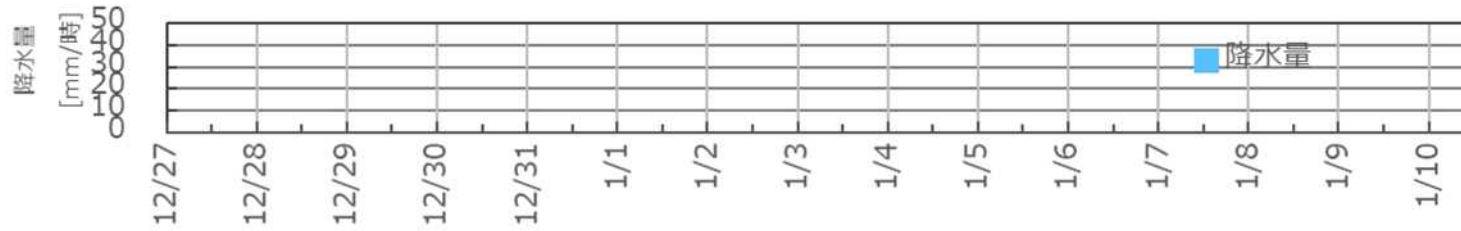
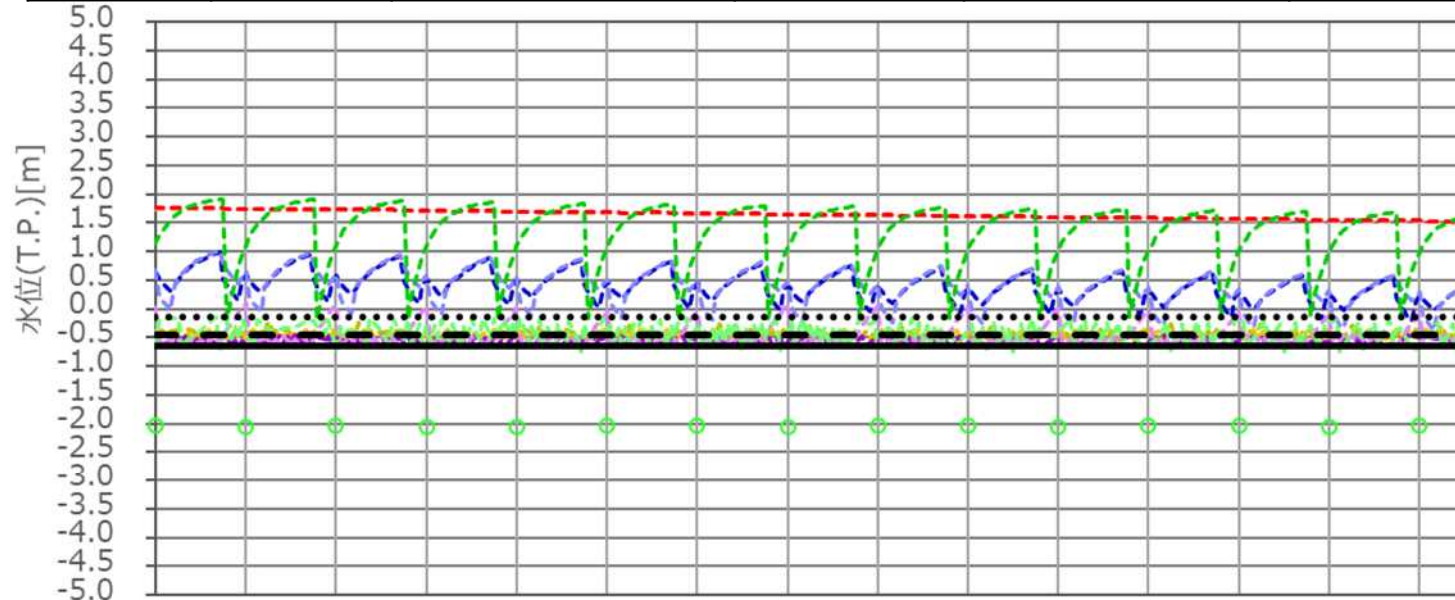
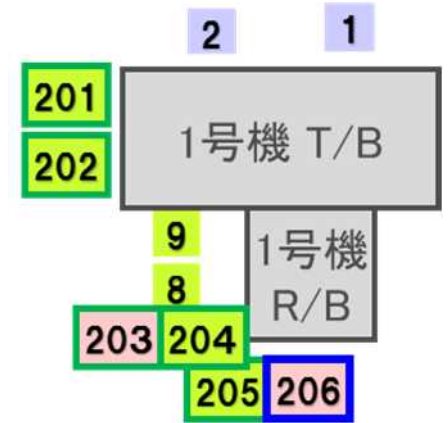
	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	1
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	1
----- 201(N1)	短時間運転		○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				



1
No.203、No.206は、それぞれのピットのポンプ交換(12/19~22)に伴い、運転停止、水位計一時引き上げを実施

至近の水位変動（1号機）

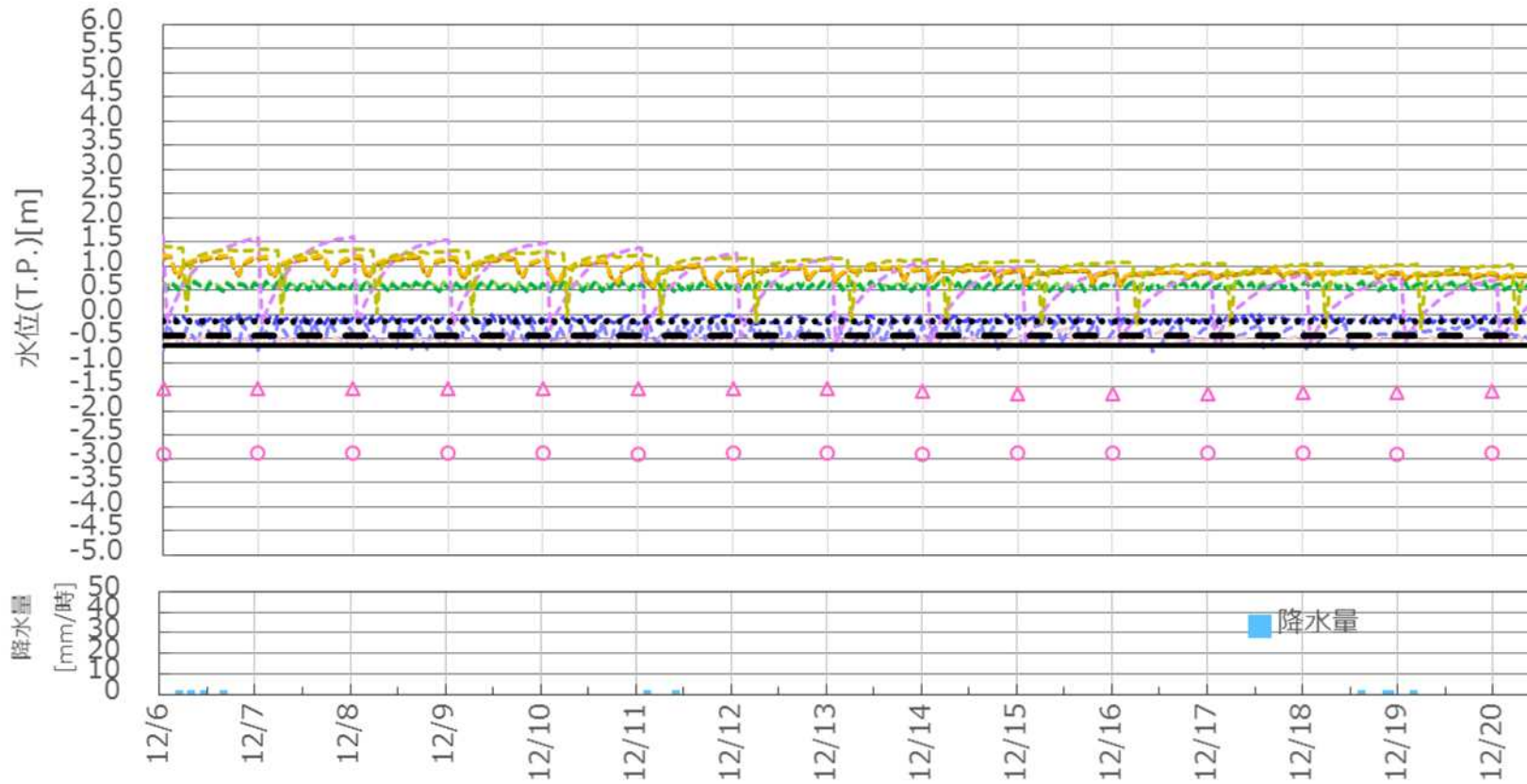
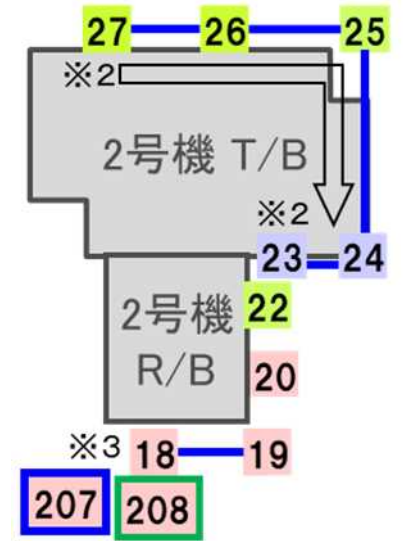
	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	
----- 201(N1)	短時間運転		○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				



①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値

至近の水位変動（2号機）

	運転状況	備考		運転状況	
-----207(N7)	連続運転		-----22	短時間運転	
-----208(N8)	連続運転		-----23	停止	
-----18	連続運転		-----24	停止	
-----19	連続運転		-----25	短時間運転	
-----20	連続運転		-----26	短時間運転	
			-----27	短時間運転	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		

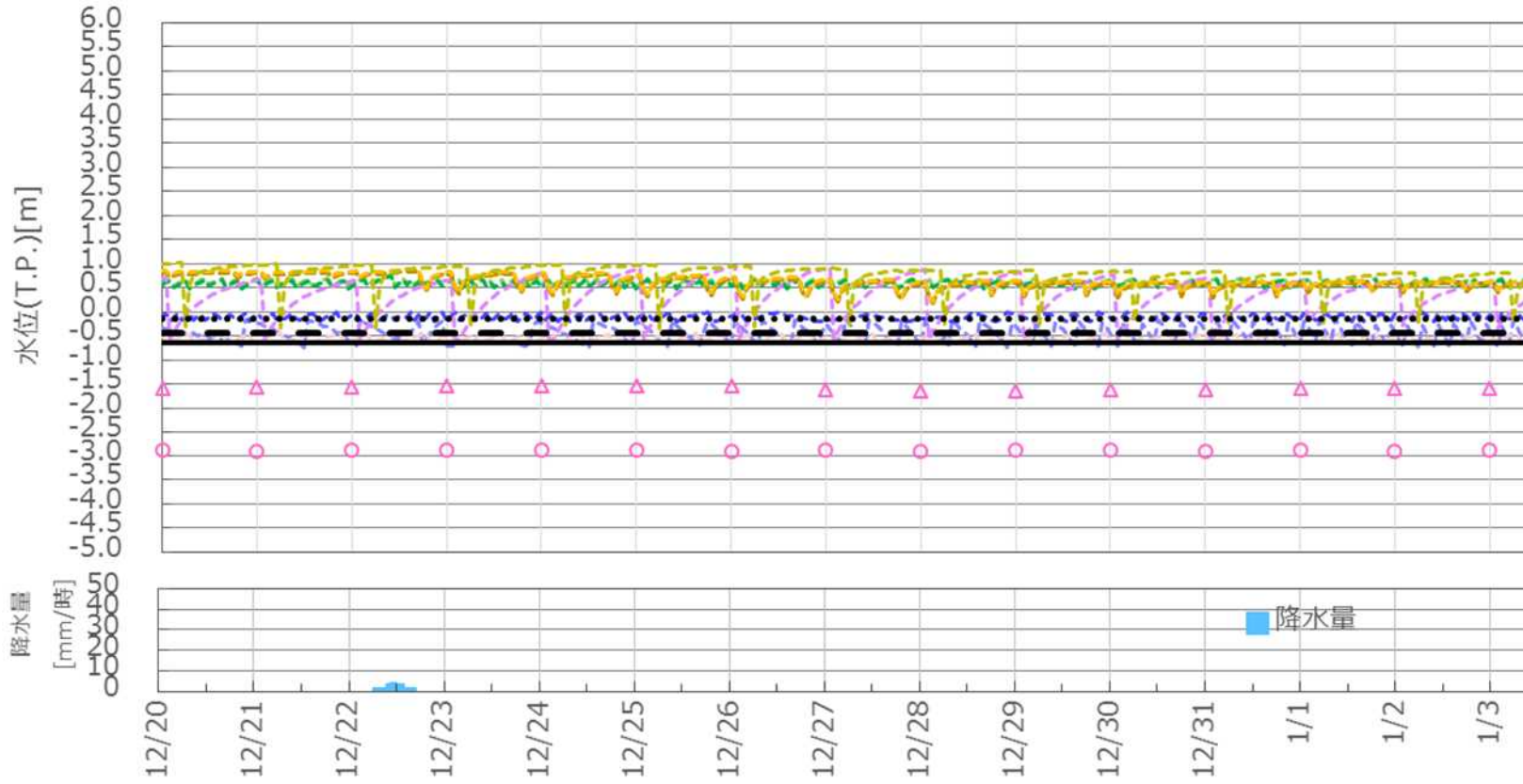
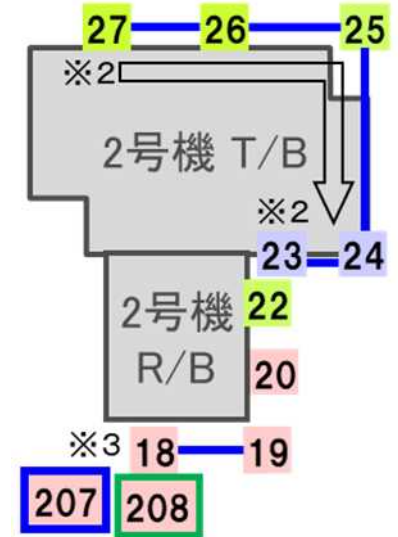


①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値

至近の水位変動（2号機）

	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転		----- 22	短時間運転	
----- 208(N8)	連続運転		----- 23	停止	
----- 18	連続運転		----- 24	停止	
----- 19	連続運転		----- 25	短時間運転	
----- 20	連続運転		----- 26	短時間運転	
			----- 27	短時間運転	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		

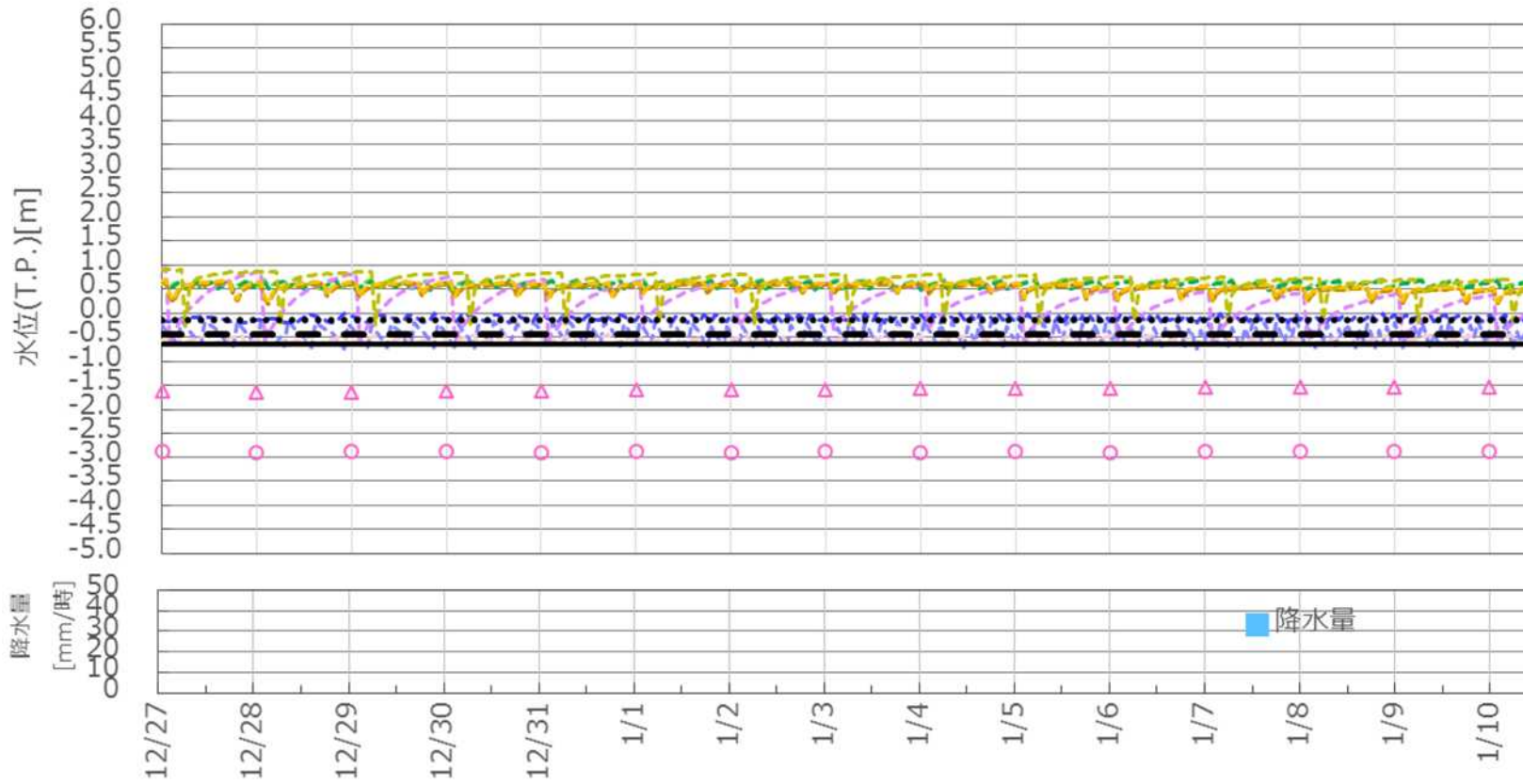
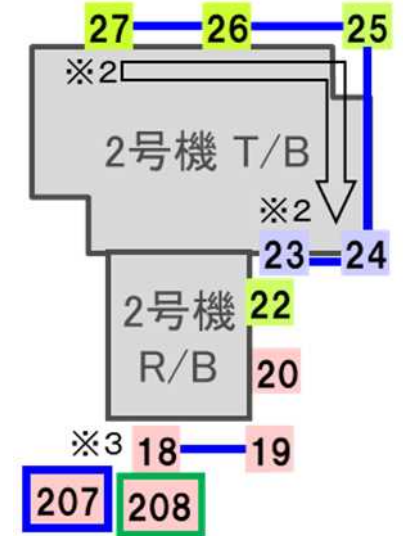
2号機周り



①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値

至近の水位変動（2号機）

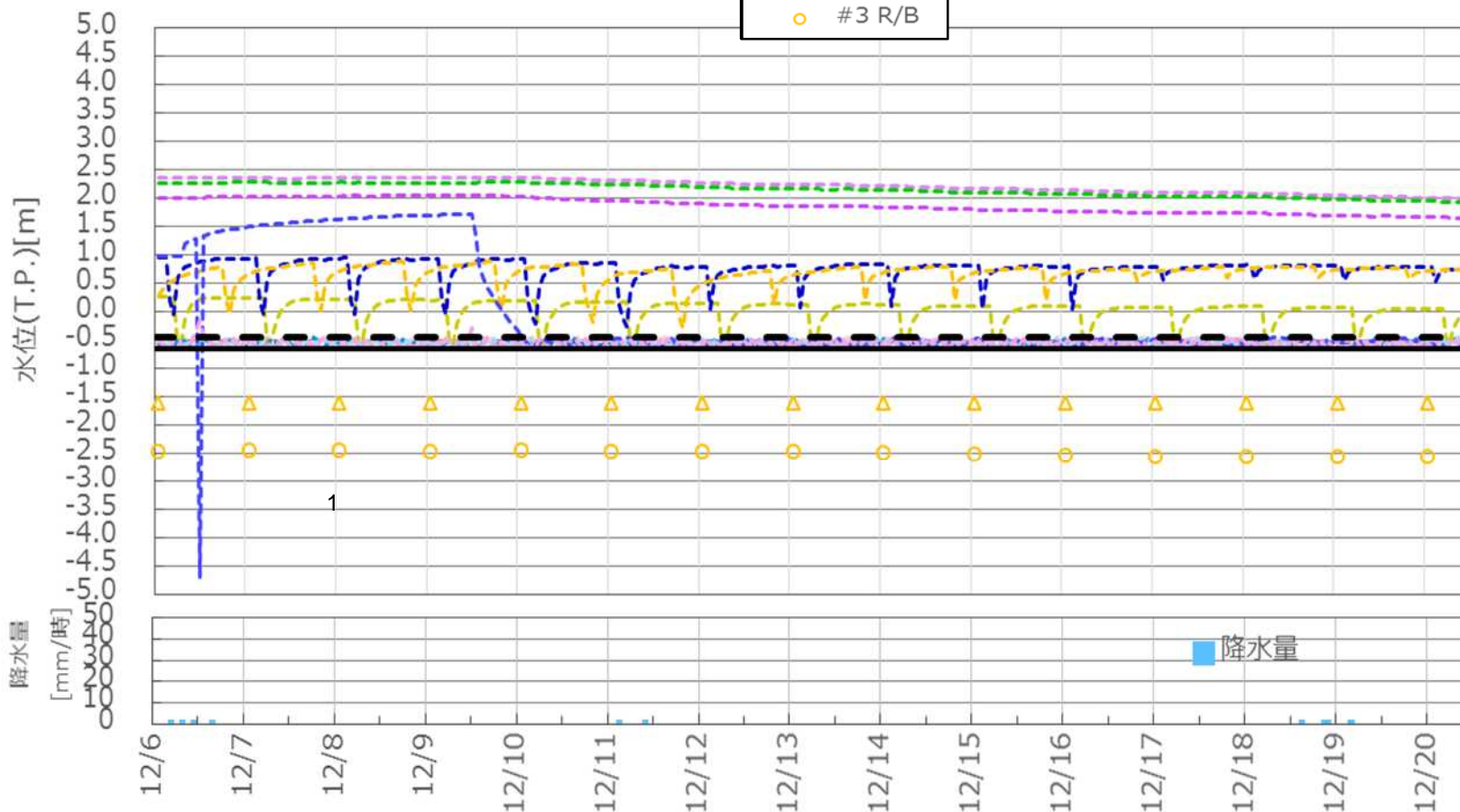
	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転		----- 22	短時間運転	
----- 208(N8)	連続運転		----- 23	停止	
----- 18	連続運転		----- 24	停止	
----- 19	連続運転		----- 25	短時間運転	
----- 20	連続運転		----- 26	短時間運転	
			----- 27	短時間運転	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		



—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

至近の水位変動（3号機）

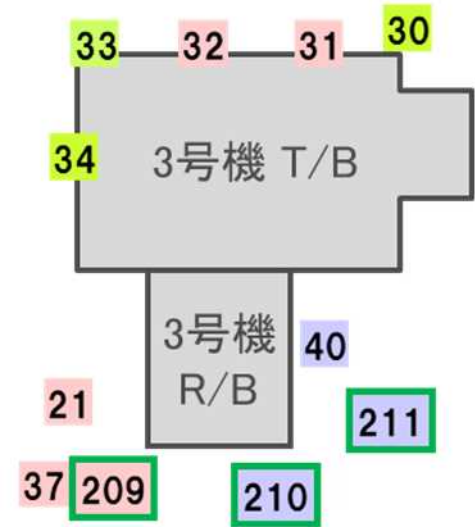
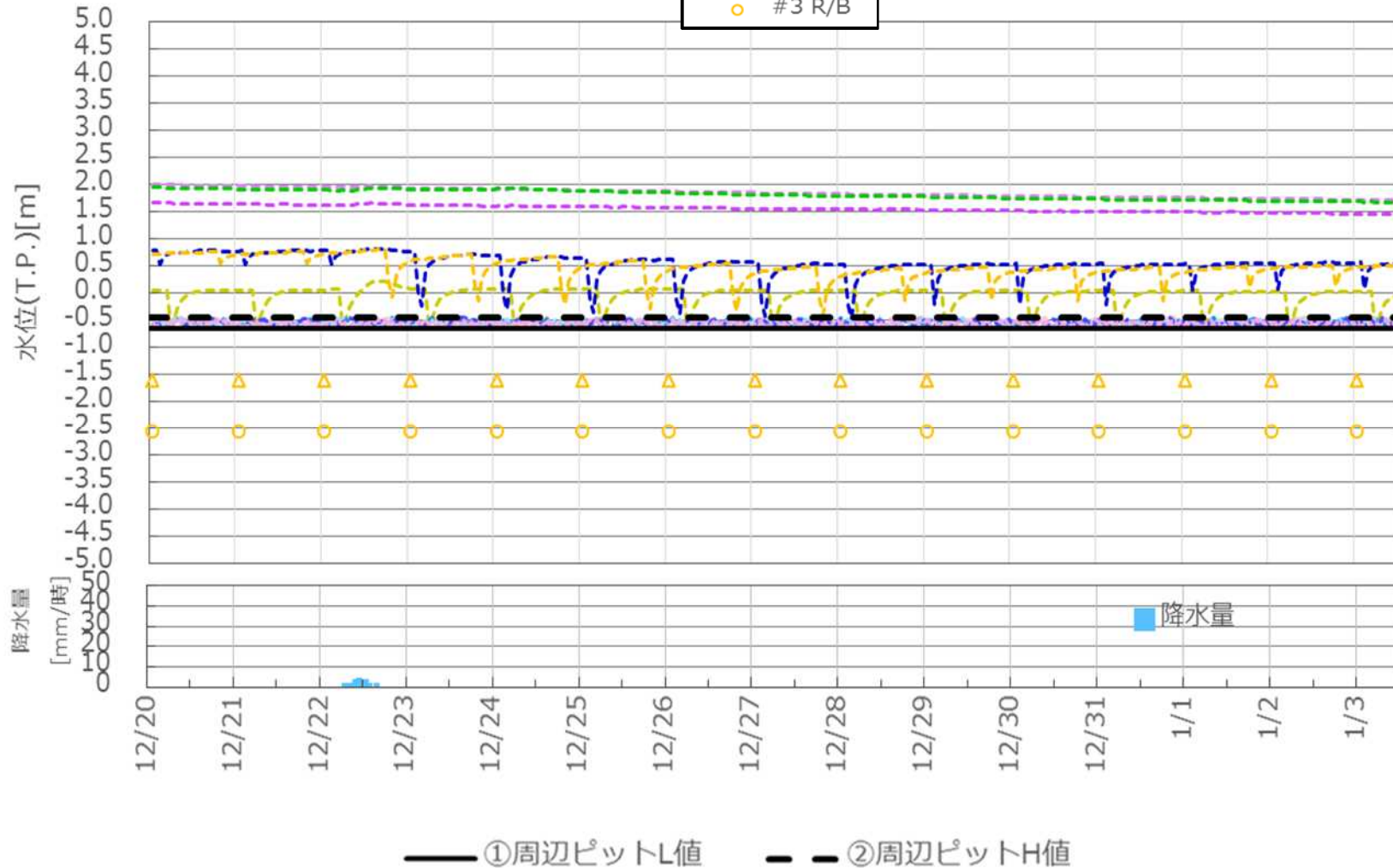
	運転状況	備考		運転状況	備考
--- 30	短時間運転		--- 40	停止	
--- 31	連続運転		--- 209(N9)	連続運転	
--- 32	連続運転		--- 210(N10)	停止	
--- 33	短時間運転		--- 211(N11)	停止	
--- 34	短時間運転		--- 21	連続運転	
--- 37	連続運転	1	△ #3 T/B		
			○ #3 R/B		



1
No.37は揚水ポンプ点検
(12/6～9)清掃に伴い、停
止・水位計一時引き上げ

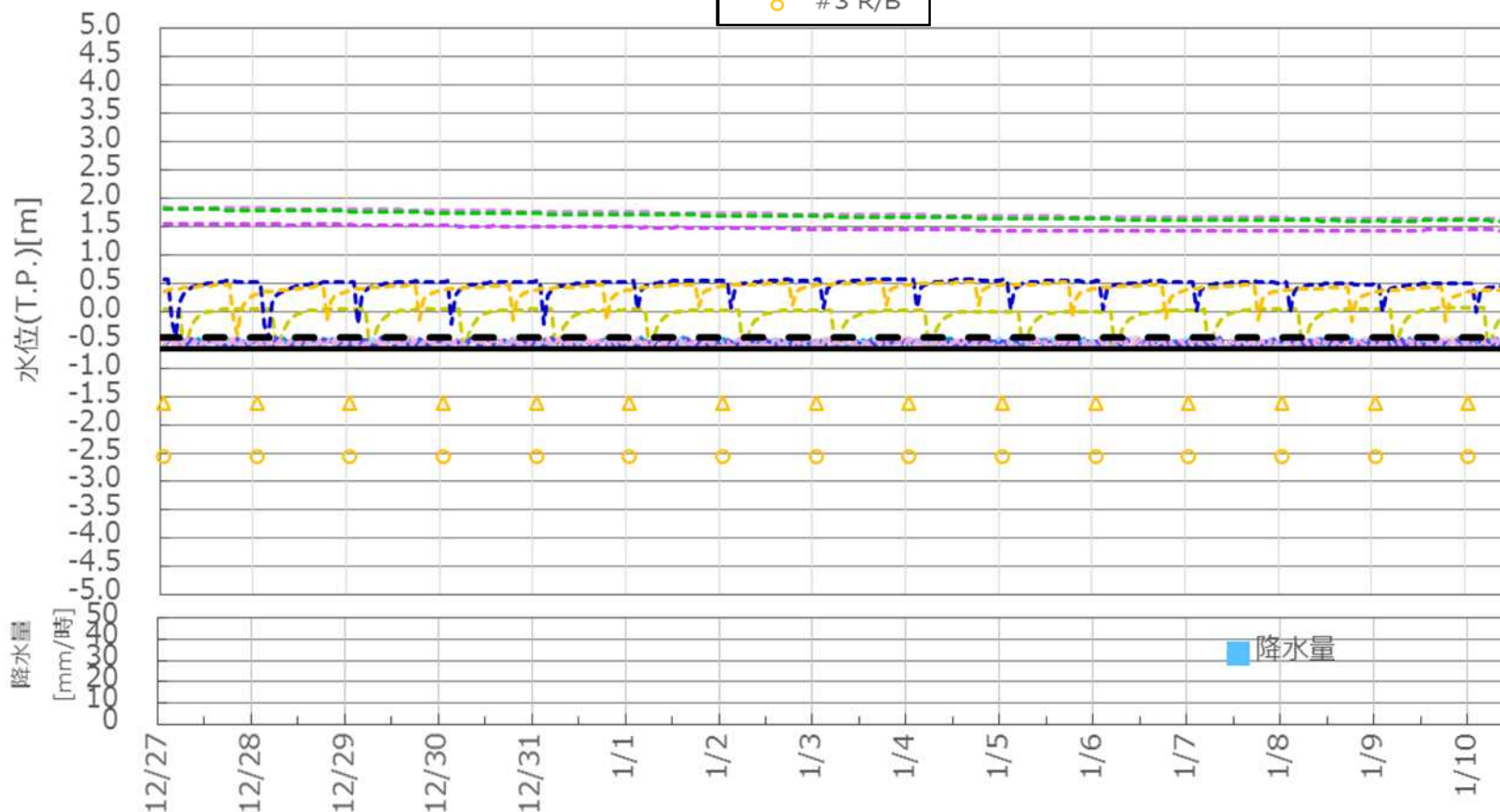
至近の水位変動（3号機）

	運転状況	備考		運転状況	備考
---	30	短時間運転	---	40	停止
---	31	連続運転	---	209(N9)	連続運転
---	32	連続運転	---	210(N10)	停止
---	33	短時間運転	---	211(N11)	停止
---	34	短時間運転	---	21	連続運転
---	37	連続運転	△	#3 T/B	
			○	#3 R/B	



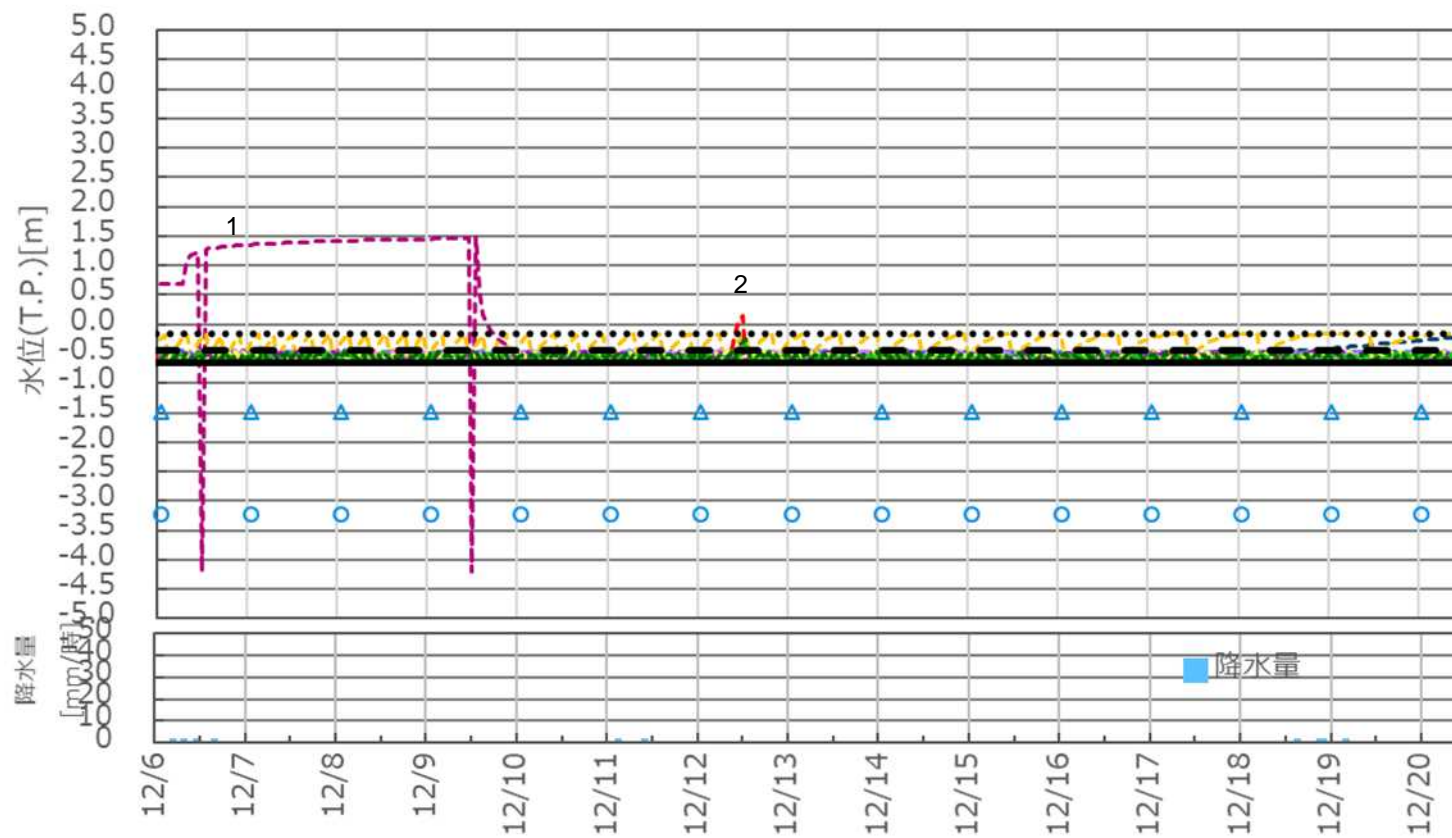
至近の水位変動（3号機）

	運転状況	備考		運転状況	備考
--- 30	短時間運転		--- 40	停止	
--- 31	連続運転		--- 209(N9)	連続運転	
--- 32	連続運転		--- 210(N10)	停止	
--- 33	短時間運転		--- 211(N11)	停止	
--- 34	短時間運転		--- 21	連続運転	
--- 37	連続運転		△ #3 T/B		
			○ #3 R/B		

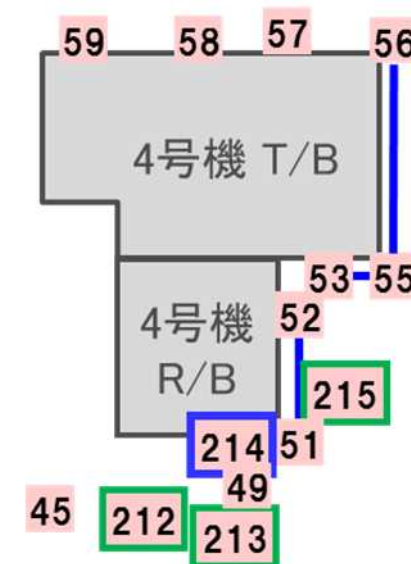


至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	連続運転	1,2	--- 57	連続運転	2
--- 49	連続運転	2	--- 58	連続運転	2
--- 51	連続運転		--- 59	連続運転	2
--- 52	連続運転	2	--- 212(N12)	連続運転	
--- 53	連続運転	2	--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転	2	--- 214(N14)	連続運転	
--- 56	連続運転	2	--- 215(N15)	連続運転	2
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

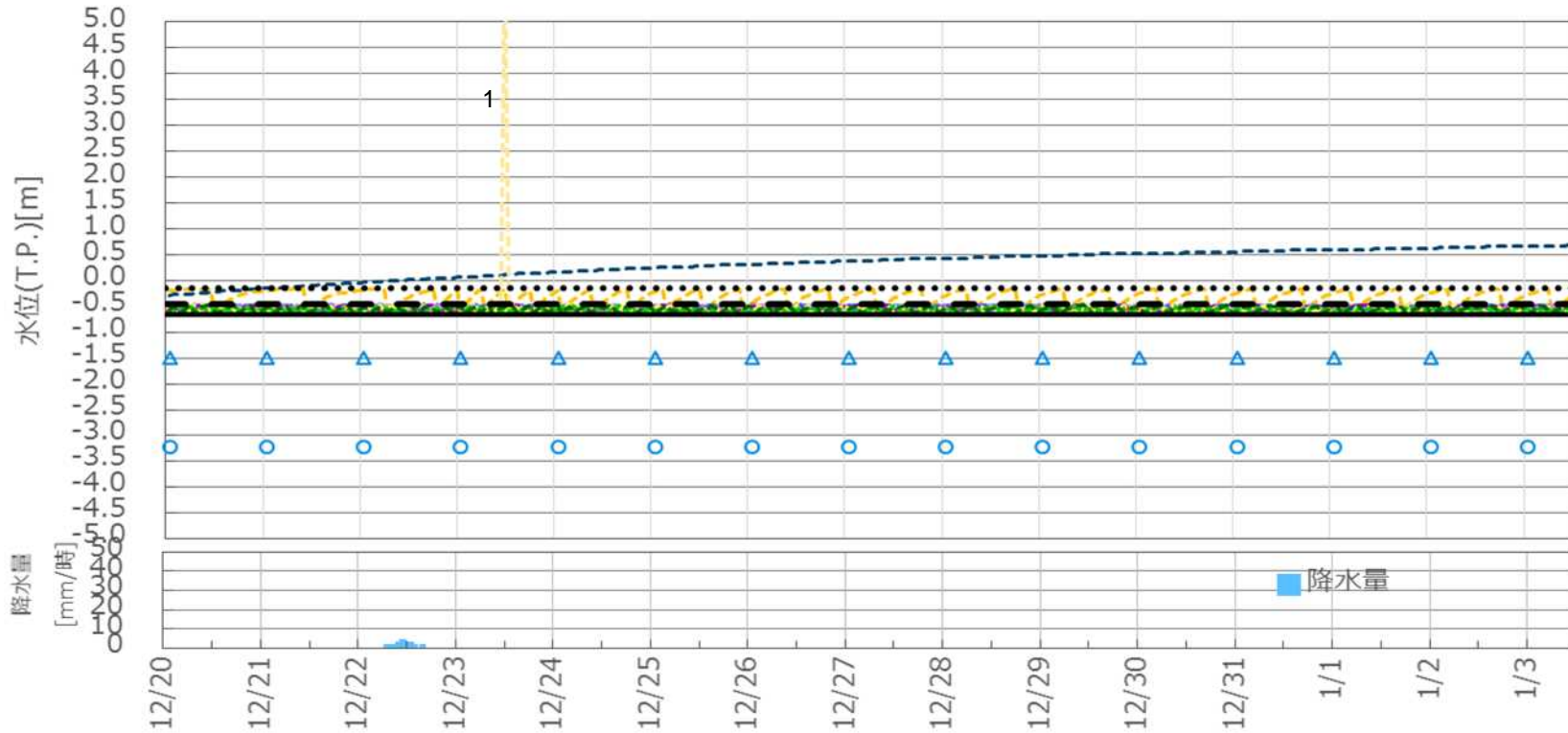


1
No.45は揚水ポンプ 交換（12/6～9）に伴い、停止・水位計一時引き上げ

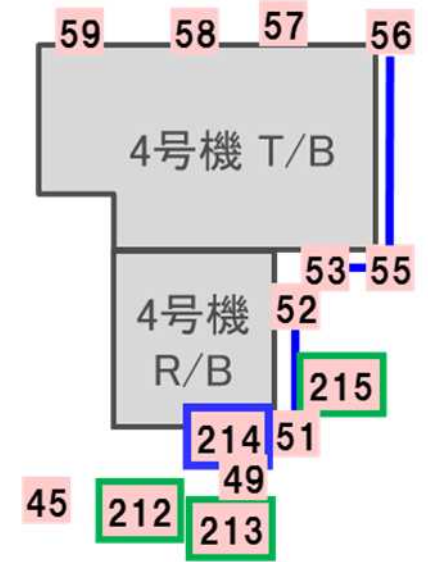
2
No.5中継系統は、Yストレナー分解清掃で全ピットが停止（12/12）

至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	連続運転		--- 57	連続運転	
--- 49	連続運転		--- 58	連続運転	
--- 51	連続運転		--- 59	連続運転	
--- 52	連続運転		--- 212(N12)	連続運転	
--- 53	連続運転		--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転		--- 214(N14)	連続運転	
--- 56	連続運転		--- 215(N15)	連続運転	1
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



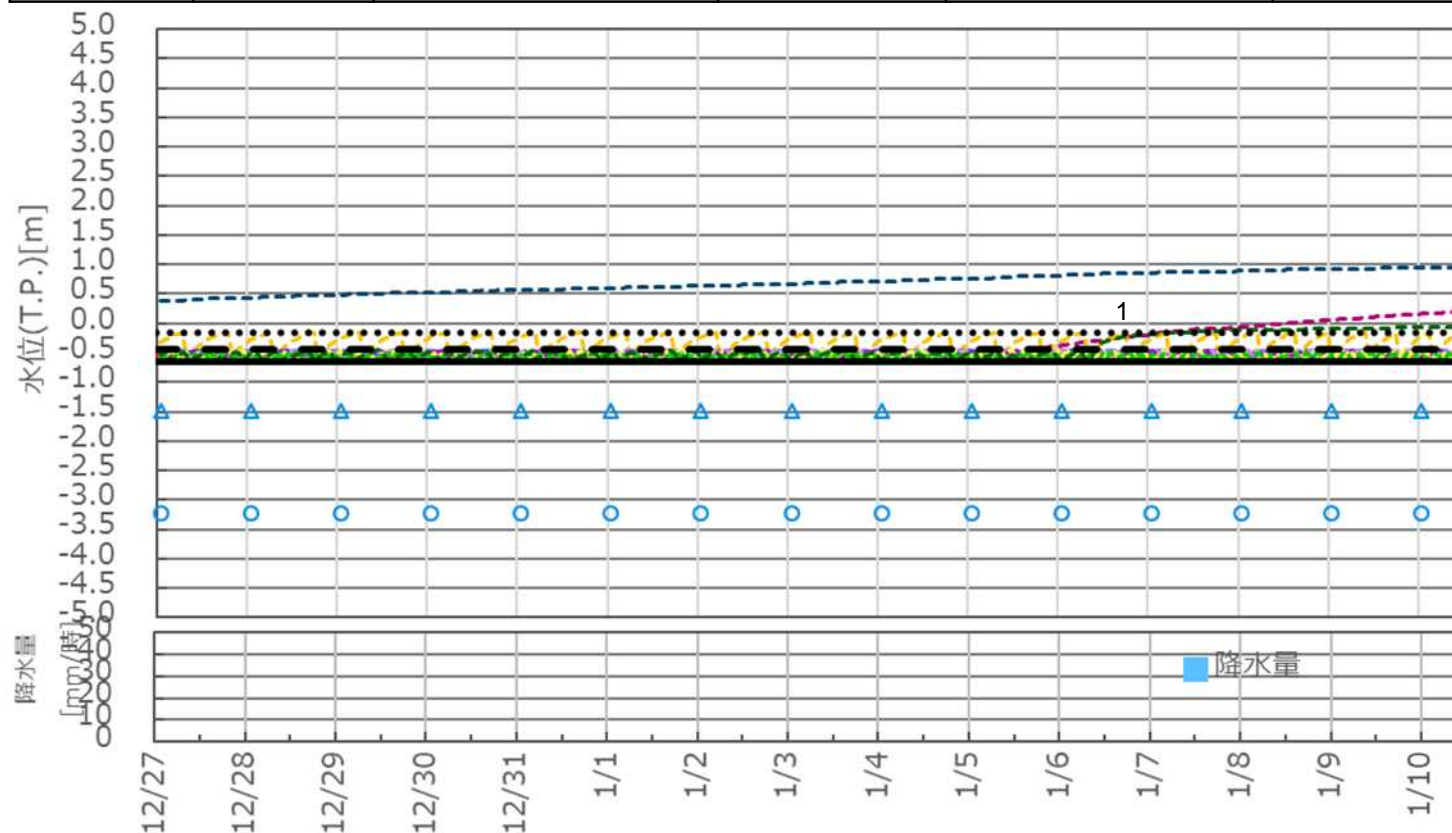
—— ①周辺ピットL値 - - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値



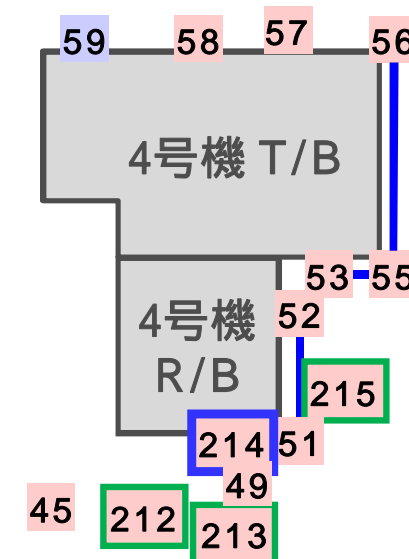
1
No.215は、水位計点検のため停止
(12/23)

至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	連続運転		--- 57	連続運転	
--- 49	連続運転		--- 58	連続運転	
--- 51	連続運転		--- 59	停止	1
--- 52	連続運転		--- 212(N12)	連続運転	
--- 53	連続運転		--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転		--- 214(N14)	連続運転	
--- 56	連続運転		--- 215(N15)	連続運転	
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値



1
No.59は、3～4号サービス建屋
ポンベ室解体工事に伴い停止
(1/6～)

サブドレン水質一覧(2023.1.12現在)

単位：Bq/L

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全	トリチウム	採取日
既設ビット	1号機	1	5.2	61	3,000	130	2022.12.16
			8.1	70	3,500	140	2022.12.30
		2	3.6	16	16,000	130	2022.12.16
			5.8	5.9	24,000	180	2022.12.30
		8	5.6	12	26	5,000	2022.12.31
			3.8	12	30	4,800	2023.1.7
		9	3.5	12	26	8,200	2022.12.31
			3.0	14	27	6,500	2023.1.7
		2号機	18	5.1	150	180	250
	5.5			150	180	300	2023.1.11
	19		15	280	310	190	2022.12.28
			6.3	260	290	290	2023.1.11
	20		3.9	4.2	11	620	2022.12.28
			4.8	4.7	9.4	550	2023.1.11
	21		5.1	4.9	11	130	2022.12.28
			3.6	4.4	9.4	130	2023.1.11
	22		4.4	40	230	3,400	2023.1.3
			5.5	43	300	3,300	2023.1.10
	23		6.3	170	210	1,700	2023.1.3
			5.6	190	290	2,300	2023.1.10
	24		5.5	110	170	760	2023.1.3
			4.8	110	140	790	2023.1.10
	25		47	1,900	3,200	14,000	2023.1.3
		40	2,200	3,500	16,000	2023.1.10	
26	41	1,800	3,800	5,400	2023.1.3		
	40	1,900	3,400	11,000	2023.1.10		
27	150	7,200	19,000	2,100	2023.1.3		
	140	6,000	19,000	2,000	2023.1.10		
3号機	30	5.6	220	580	8,400	2022.12.16	
		5.2	130	390	9,000	2022.12.30	
	31	5.5	4.7	370	2,500	2022.12.16	
		4.7	6	340	2,400	2022.12.30	
	32	4.6	4.3	11	4,000	2022.12.16	
		5.7	6.0	11	4,700	2022.12.30	
	33	4.6	4.3	9.9	12,000	2022.12.16	
		4.7	3.6	11	17,000	2022.12.30	
	34	5.0	6	13	8,600	2022.12.16	
		5.7	11	11	7,700	2022.12.30	
37	4.0	4.5	11	130	2022.12.28		
	5.8	4.4	9.4	130	2023.1.11		
40	5	140	190	240	2022.8.26		
	110	3,700	4,200	170	2022.9.2		

赤字は検出限界値未満を表す
ハッチングは最新値を示す。

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全	トリチウム	採取日
既設ビット	4号機	45	3.0	4.4	12	120	2022.9.2
			6.0	3.7	11	120	2022.10.21
		51	4	4	9	110	2021.9.17
			3.5	3.9	12	120	2022.9.2
		52	4.0	4.8	9.4	110	2021.9.17
			3.9	4.8	11	130	2022.9.16
		53	4.4	5.4	9.4	110	2021.9.17
			3.9	4.8	11	130	2022.9.16
		55	3.8	5.2	9.4	110	2021.9.17
			4.7	5.2	11	130	2022.9.16
		56	5.1	4.7	10	130	2022.12.9
			3.0	4.4	12	130	2023.1.7
		57	3.5	3.9	9.4	110	2021.9.17
			3.0	5.2	11	120	2022.9.16
		58	4.1	5.9	260	110	2021.9.17
			3.7	3.4	31	130	2022.9.16
		59	3.0	3.9	32	310	2021.9.17
			3.8	4.4	26	280	2022.9.16
		新設ビット	1号機	201	5.0	3.9	10
3.8	5.3				11	2,800	2023.1.10
202	3.9			4.6	10	200	2021.7.30
	5.0			3.8	11	210	2022.7.20
203	3.9			4.4	12	460	2022.12.3
	3.8			4.5	10	330	2022.12.31
204	4.1			5.9	11	310	2022.12.17
	3.9			3.8	10	340	2022.12.31
205	4.1			4.0	10	5,400	2022.12.31
	5.1			5.5	12	4,900	2023.1.7
206	3.6		4.4	12	1,000	2022.12.3	
	4.6		3.8	10	630	2022.12.31	
2号機	207		4.6	4.8	11	3,200	2022.12.28
			3.9	9	36	3,800	2023.1.11
208	4.1		3.9	12	1,400	2023.1.4	
	4.5	4	9.4	1,400	2023.1.11		
3号機	209	5.8	3.9	11	130	2022.12.7	
		5.6	4.3	12	120	2023.1.4	
	210	4.4	4.8	11	110	2021.7.16	
		5.1	3.9	12	120	2022.9.2	
211	3.2	3.9	11	120	2021.7.16		
	4.0	3.9	12	120	2022.9.2		
4号機	212	4.5	5.4	9.4	110	2021.9.17	
		4.0	4.9	12	120	2022.9.2	
	213	3.8	4.3	9.4	110	2021.9.17	
		5.0	3.4	12	120	2022.9.2	
	214	4.5	23	29	160	2022.12.7	
5.5		37	45	130	2023.1.7		
215	2.8	3.9	9.4	110	2021.9.17		
	5.1	3.4	11	130	2022.9.16		
既設ビット	4号機	49	3.8	4.3	12	120	2023.1.4
			4.1	5.9	9.4	130	2023.1.11

中継タンクくみ上げ量

単位：m³

	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1～4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
12/6	41	80	53	50	74	298	128
12/7	41	80	49	45	77	292	120
12/8	39	77	48	46	75	285	124
12/9	39	77	99	74	73	362	118
12/10	47	76	121	98	66	408	118
12/11	45	76	98	93	64	376	121
12/12	29	75	88	88	58	338	43
12/13	28	73	86	86	60	333	0
12/14	27	73	81	85	58	324	0
12/15	26	72	77	82	56	313	0
12/16	25	71	74	81	56	307	0
12/17	21	69	74	81	54	299	0
12/18	22	68	71	77	54	292	0
12/19	21	56	69	80	51	277	0
平均						322	55

5・6号は、移送
配管清掃のため、
汲み上げ停止
(12/12～22)

(くみ上げ量は当日0時から24h)

中継タンクくみ上げ量

単位：m³

	サブレン						
	1	2	3	4	5	1~4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
12/20	20	50	68	72	51	261	0
12/21	22	51	67	68	52	260	0
12/22	27	63	70	68	53	281	107
12/23	34	69	72	66	59	300	147
12/24	35	68	69	65	62	299	116
12/25	34	68	67	63	56	288	119
12/26	34	68	66	62	56	286	118
12/27	34	66	64	57	54	275	107
12/28	29	66	64	59	54	272	107
12/29	25	65	63	58	53	264	106
12/30	24	65	60	59	52	260	95
12/31	25	63	59	58	51	256	103
1/1	18	63	59	56	51	247	101
1/2	20	62	58	56	52	248	90
平均						271	94

5・6号は、移送
配管清掃のため、
汲み上げ停止
(12/12~22)

(くみ上げ量は当日0時から24h)

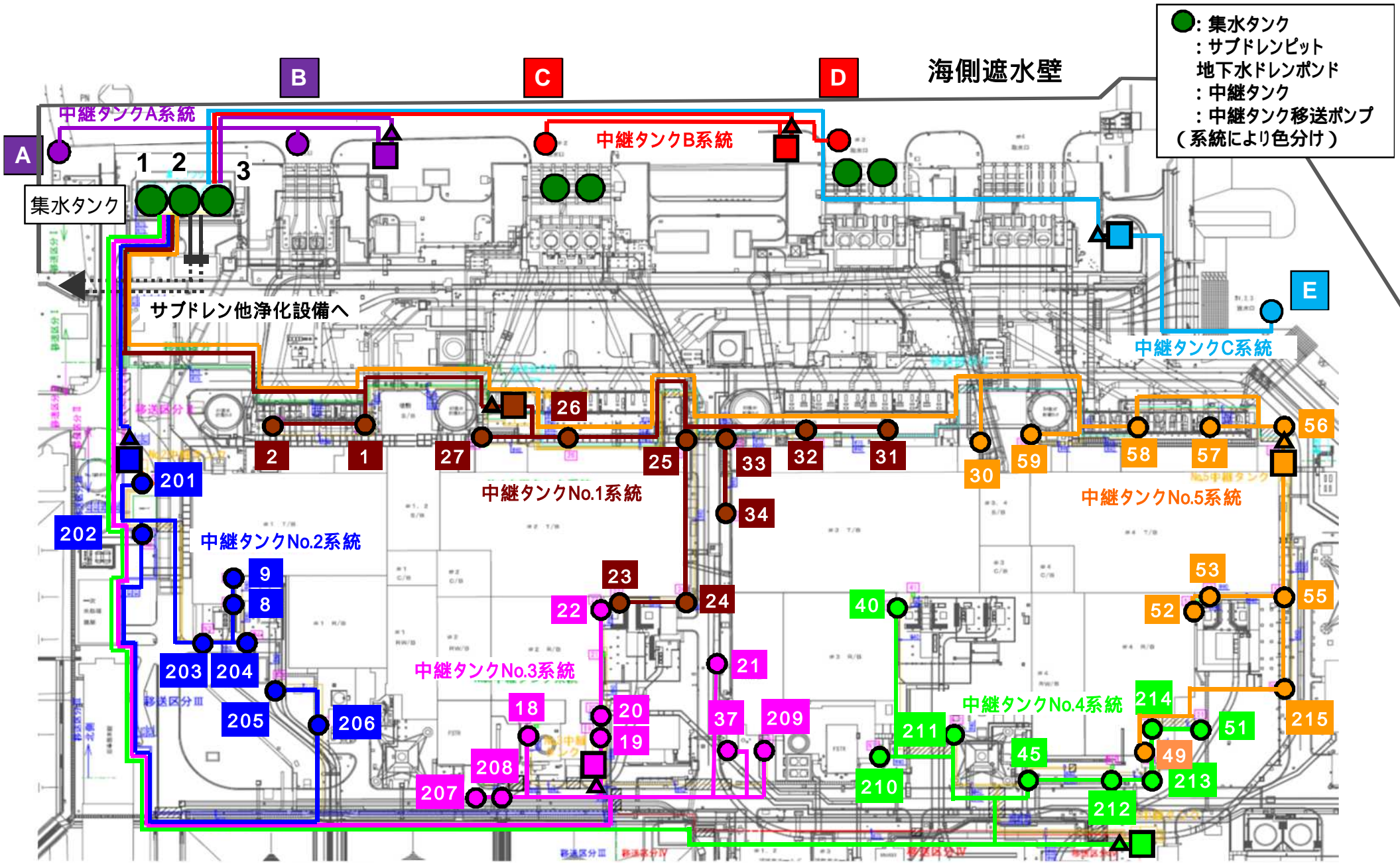
中継タンクくみ上げ量

単位：m³

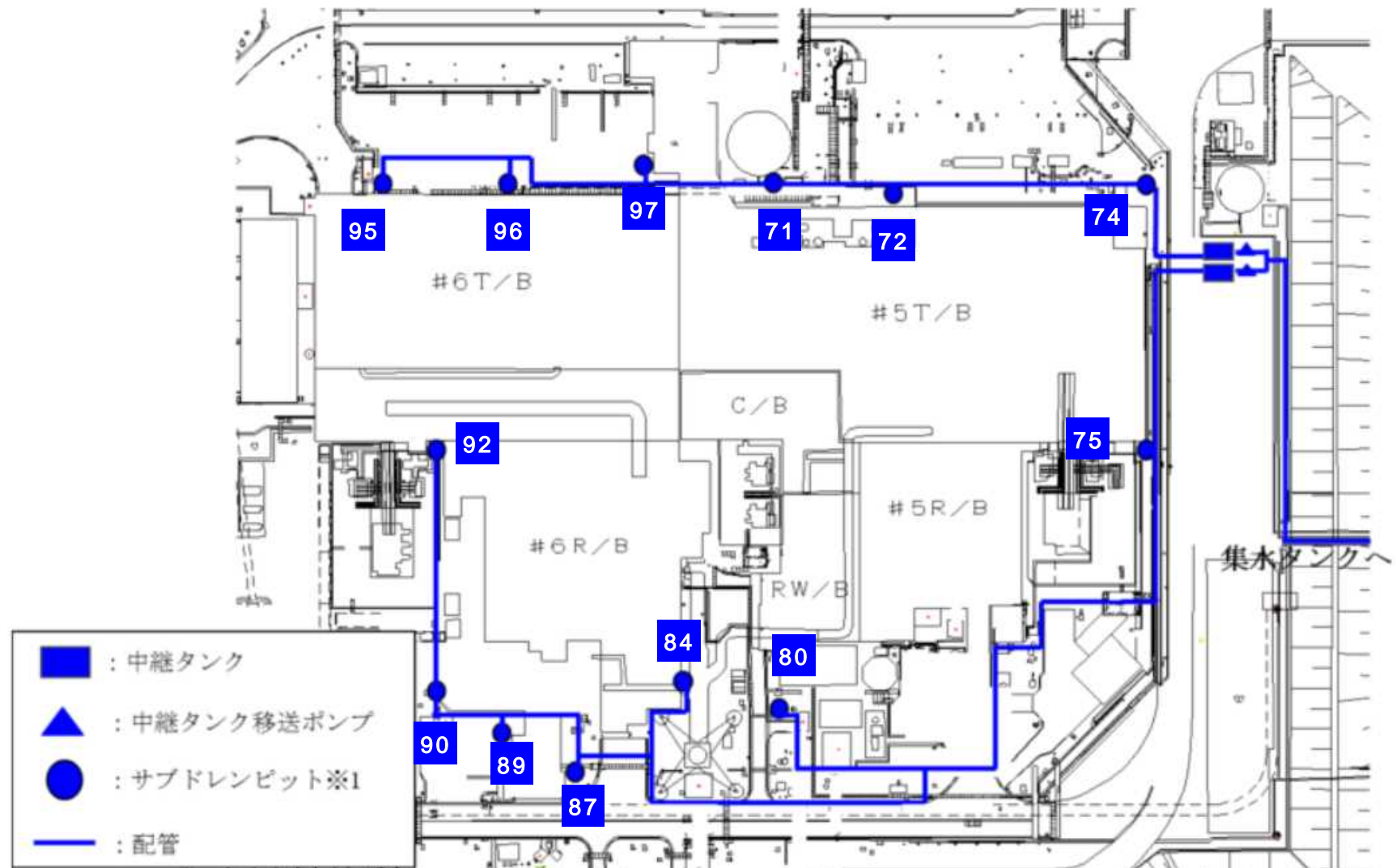
	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1～4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
12/27	34	66	64	57	54	275	107
12/28	29	66	64	59	54	272	107
12/29	25	65	63	58	53	264	106
12/30	24	65	60	59	52	260	95
12/31	25	63	59	58	51	256	103
1/1	18	63	59	56	51	247	101
1/2	20	62	58	56	52	248	90
1/3	19	62	57	55	50	243	102
1/4	19	61	55	53	48	236	93
1/5	22	60	55	53	51	241	87
1/6	22	60	54	47	43	226	99
1/7	22	59	54	45	41	221	80
1/8	22	58	52	41	42	215	93
1/9	24	58	53	40	44	219	93
平均						245	97

(くみ上げ量は当日0時から24h)

【参考1】サブドレン・地下水ドレン 中継タンク系統図



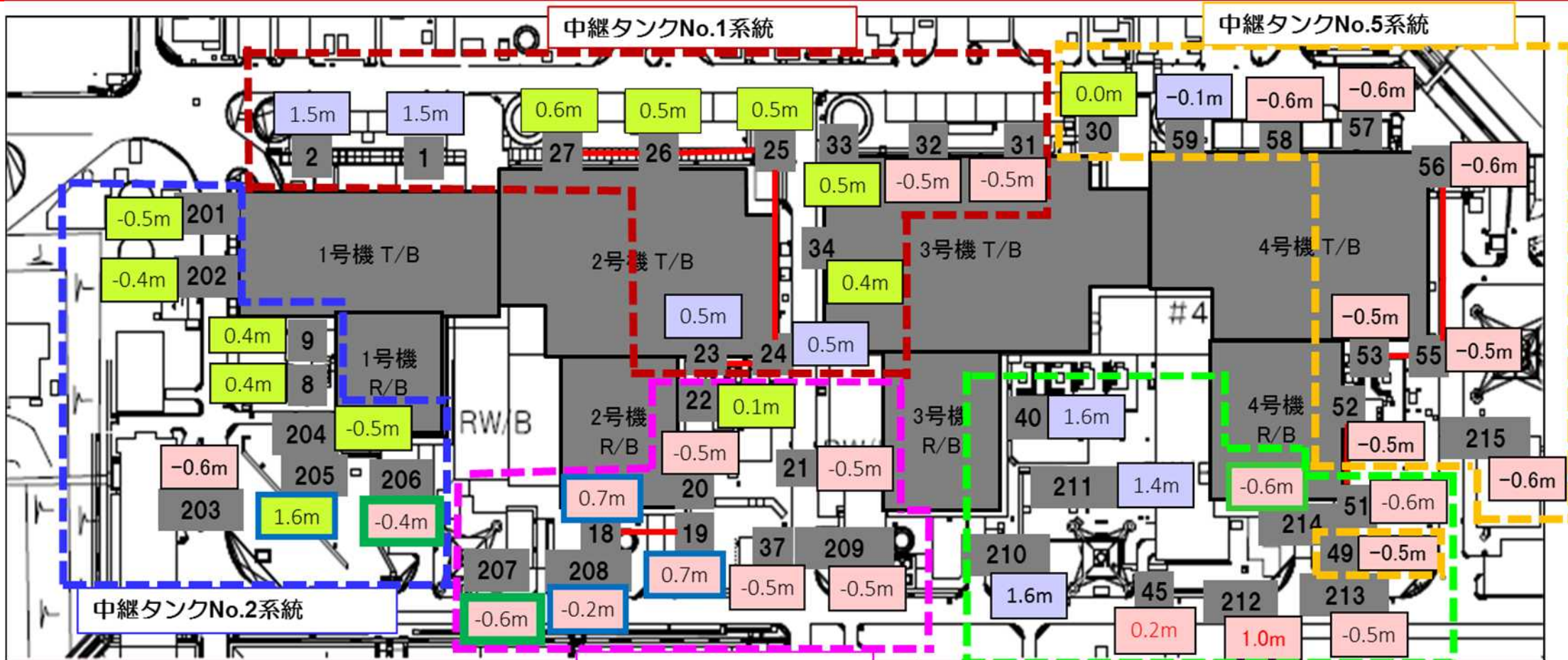
1 揚水ポンプおよび水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計46台、水位計：各ピットに2台ずつ、計92台)



※1揚水ポンプと水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計13台、水位計：各ピットに1台ずつ、計13台)

図-9 サブドレン集水設備系統図(5・6号機)

【参考】サブドレン水位の状況について (2023.1.10.12時時点)



水位の凡例

- : 連続稼働中 (大口徑ピットの設定水位-0.65~-0.45m)
(25基/46基) [うち、設定水位より高めのピットは朱書き (2基)]
- : 短時間運転 (13基/46基)
- : 停止中 (8基/46基)
- : 未拡張用水位設定中。緑囲み(3基/46基)
- : 汲み上げ抑制・トリチウム濃度調査のため、高めの水位設定。青囲み(4基/46基)

中継タンクNo.4系統

— : 横引き管

■ 保全計画予定 ■

・揚水ポンプ清掃・交換

- 1/16 ~ 1/20 : No. 49揚水ポンプ交換
- 1/23 ~ 1/26 : No. 212揚水ポンプ交換
- 1/23 ~ 1/26 : No. 45揚水ポンプ交換

・中継タンク清掃

- 1/16 ~ 1/20 : No.5中継タンク清掃